

『三譯総解(第三)』ハングル表記満洲語文語索引*

王 海波
(嶺南師範学院)

キーワード: 『三譯総解』、ハングル表記、満洲語文語

1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる(小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290)。

清学書におけるハングル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一对一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音) に相当する語形が、ハングル表記では1音節で書かれる場合もあれば、2音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハングル表記や io に対応するハングル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハングル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記の対応関係に関する研究としては、池上(1951; 1954; 1963)、今西(1958)、성백인(1984)、岸田(1989)、Ikegami(1990)、崔宰宇(1997)、菅野(2005)、邵磊(2011; 2016)、和田(2013)、王敵非(2013)、邵磊・多麗梅(2022; 2023)、邵磊・金龍軍(2022)、邵磊・林茶英(2022)、邵磊・王敵非(2022)、邵磊・任國俊(2023)などが挙げられる。

満洲文字とハングルの表記対応の問題を検討するには、ハングルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『三譯総解』(全十卷)の第三卷(『三譯総解(第三): 諸葛亮智激孫權』)にあるハングル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

2. ハングル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『三譯総解(第三)』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

[1] 第1列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写(メレンドルフ式転写)と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田(1937)、田村ほか(1966-1968)、福田(2008)等を参考にした。なお、和訳は原則として『三譯総解』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。

[2] 第1列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『三譯総解』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第1列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。

* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」(課題番号 22FMZB009)の助成を受けた研究成果の一部である。

[3] 第2列には、『三譯総解』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。
 [4] 第3列は、当該語形が『三譯総解』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(3-1a-2-4)」は「第3巻-第1葉a面-第2行-第4語」を表す。「第X語」とは、ハングル表b記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合のX番目に現れる語を指す（ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する）。

表1：『三譯総解（第三）』ハングル表記満洲語文語索引

メンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka 「空」	압카	(3-8b-3-3)
abkai 「空(そらの)」	압캐	(3-10a-2-2) (3-13b-4-4)
acambi 「会う；合う」	---	---
acafi	아차피	(3-22b-4-4)
acaha	아차하	(3-4b-4-4)
acara	아차라	(3-3a-1-3)
acanjimbi 「会いに来る」	---	---
acanjirengge	아찬지렁거	(3-13b-2-4)
adali 「同様」	아다리	(3-13b-3-3) (3-15b-1-3) (3-21b-1-3) (3-21b-5-3) (3-23b-5-1) (3-26b-3-4) ¹
adalingge 「同様なもの」	아다링거	(3-8a-3-2)
adambi 「並ぶ、隣り合う」	---	---
adame	아다머	(3-4a-6-3)
adarame 「如何に」	아다라머	(3-6b-2-5) (3-13b-5-1) (3-19a-4-4) (3-23b-1-1)
afambi 「攻める、戦う」	아팜비	(3-22b-6-4)
afaki	아파키	(3-25b-5-3)
afame	아파머	(3-20b-1-2) (3-25a-1-2)
afara	아파라	(3-7b-3-2) (3-7b-5-6) (3-8b-2-3) (3-9a-3-2) (3-19a-6-7) (3-19b-4-8)
afarakū	아파라쿠	(3-12a-6-5)
agui 「老兄の」	아귀	(3-12b-6-5)
ahūn 「兄」	아훈	(3-10b-3-3)
ai 「何；何の」	애	(3-8b-6-8) (3-11a-4-4) (3-14a-5-4) (3-14b-5-4) (3-25b-1-1)
aikabade 「もし」	애카바더	(3-6b-1-2) (3-9a-2-1) (3-9a-5-4) (3-11a-2-1) (3-26a-2-3)
ainambi 「何をする、どうする」	---	---
ainahai	애나해	(3-5b-3-6)
ainara	애나라	(3-19a-2-3) (3-26a-1-1) (3-26a-3-2)
ainci 「思うに」	앤치	(3-7a-1-4)
ainu 「なぜ」	애누	(3-1b-6-6) (3-11b-2-5) (3-13a-1-8) (3-15a-2-4) (3-16a-4-1) (3-17a-1-1) (3-26a-6-6)

¹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

aisilabumbi 「助けさせる」	애시라븨	(3-16a-3-1)
aisilambi 「助ける」	애시람븨	(3-5a-3-8)
aisin 「金」	애신	(3-1b-6-1) (3-9b-1-5)
ajige 「小さい」	아지거	(3-24b-3-6)
ajigen 「小さい、幼い」	아지건	(3-5b-2-4)
akū 「無い」	아쿠	(3-4b-6-6) (3-5b-3-3) (3-7a-5-6) (3-21b-6-7) (3-25a-3-3) (3-25a-3-7)
alabumbi 「告げさせる」	---	---
alabufi	아라부피	(3-22a-4-2)
alambi 「告げる」	---	---
alafi	아라피	(3-3b-1-2) ² (3-4b-2-9)
alahangge	아라항거	(3-7b-1-1)
alarakū	아라라쿠	(3-16b-5-8)
algimbi 「名が揚がる」	---	---
algikabi	알기카비	(3-10a-6-2) (3-23a-6-7)
alimbi 「受ける ; 引き受ける」	---	---
alime	아리며	(3-14b-6-1) (3-16b-2-7) (3-18a-1-5)
alin 「山」	아린	(3-1a-6-1)
aliyambi 「待つ ; 後悔する」	---	---
aliyafi	아랴피	(3-4a-1-1)
aljambi 「離れる ; 顔色を変える」 (angga aljambi 「約束する」)	---	---
aljafi	알자피	(3-14a-1-1)
ama 「父」	아마	(3-10b-3-2)
amala 「後ろ(に) ; 後に ; これから」	아마라	(3-1b-1-1)
amargi 「北 ; 後ろ」	아말기	(3-6a-2-3) (3-14a-1-3) (3-14a-3-5) (3-15b-4-5) (3-18a-4-2) (3-20a-6-3) (3-21a-4-4) (3-23b-6-3) (3-25a-2-4)
amasi 「後ろに」	아마시	(3-11b-2-3) (3-19b-1-2)
amba 「大きい」	암바	(3-10a-4-2) (3-17a-6-6) (3-24b-4-3)
ambalinggū 「鷹揚な、堂々とした」	암바링구	(3-3b-3-1)
ambasai 「大臣たちの」	암바새	(3-11a-6-3) (3-22b-1-4)
ambula 「多い ; 大いに」	암부라	(3-1a-6-7) (3-9b-3-6) (3-14b-3-6) (3-16b-1-2) (3-21b-3-3) (3-23a-6-6)
amcambi 「追う」	---	---
amcara	암차라	(3-20a-3-1)
amtan 「味」	암탄	(3-25a-3-6)

² 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「아라피」が「아다피」のように見えるが、本来は「아라피」と書かれていたものと考えられる。

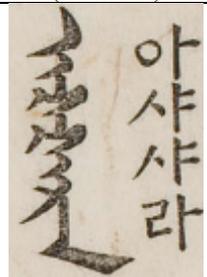
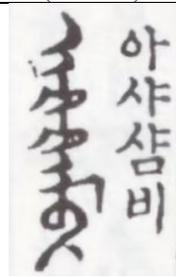
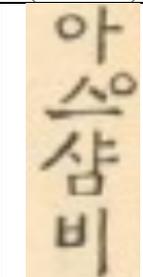
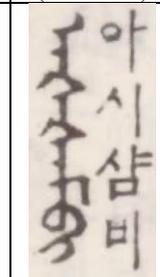
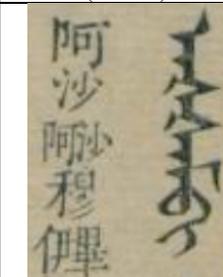
anabumbi「押させる ; 押される ; 譲る ; 負ける」	---	---
anabure	아나부러	(3-5a-5-2)
anaburengge	아나부렁거	(3-21b-2-2)
anggala「～よりもむしろ ; ～のみならず」	앙가라	(3-20a-6-2)
antaka「どうか」	안타카	(3-5a-5-5) (3-8a-2-1)
arbun「容姿 ; 様子」	알분	(3-25a-5-6)
arga「方法 ; 計略」	알가	(3-7b-4-3) (3-11a-3-4) (3-11b-6-7) (3-15a-1-5) (3-15a-3-6) (3-16b-5-4) (3-17a-3-5) (3-22b-2-3)
argai「方法/計略で」	알개	(3-11a-4-5)
aššabumbi「動かす」	---	---
aššabure	아샤샤부러	(3-23b-3-3)
aššambi「動く」	---	---
aššara	아샤샤라 ³	(3-24a-3-2)
ayoo「～ではあるまいか」	아우	(3-6b-1-4) (3-9a-6-2)
ba「所 ; 里(距離単位)」	바	(3-8b-4-6) (3-12b-5-2) (3-20a-2-7) (3-20a-6-4) (3-21a-6-5) (3-21b-6-6)
babe「所/里を」	바버	(3-4b-5-1) (3-8a-5-7) (3-8a-6-3) (3-8b-6-9) (3-9b-5-6) (3-19a-1-6)

³『三譯総解』の当該箇所における aššara は、ハングル表記で「아샤샤라」と記されている。ašša の部分は「아샤샤」に対応する。この表記は、清代辞書において漢字を用いて示される三合切音の方式と類似性を示している。例えば、『増訂清文鑑』(15-24a)における aššambi の三合切音は「阿沙[沙阿]穆[畢伊]」である。

また、『清語老乞大』(7-8a-5-1)における aššambi のハングル表記は「아샤삼비」であり、『三譯総解』のハングル表記と一致している。一方、『同文類解』(1-29a-1-1)および『漢清文鑑』(7-44b-7-1)における aššambi のハングル表記は、それぞれ「아[스]삼비」および「아시삼비」である。なお、『八歳兒』と『小兒論』には、šš を含む語はない。

以上の点は次表のとおり整理することができる。

表 2 : ašša- のハングル表記と三合切音

三譯総解 (3-24a-3-2)	清語老乞大 (7-8a-5-1)	同文類解 (1-29a-1-1)	漢清文鑑 (7-44b-7-1)	増訂清文鑑 (15-24a)
				
aššara	aššambi	aššambi	aššambi	aššambi
아샤샤라	아샤삼비	아[스]삼비	아시삼비	阿沙[沙阿]穆[畢伊]

一方、『三譯総解』において uttu, tuttu に対応するハングル表記は、それぞれ「운투」および「툰투」である。šš と tt のハングル表記に違いがあるのは、音節末の t はハングル表記において「ㄷ」で表すことが可能であるのに対し、音節末の š はハングル表記では表すことができないためであると考えられる。その結果、後者は三合切音に類似した方法を用いて表記されたのである。

baci 「所/里より」	바치	(3-19b-6-4)
bade 「所/里に」	바더	(3-15a-2-2) (3-21a-4-5)
bahambi 「得る」	바함비	(3-21a-6-1)
baha (完了)	바하	(3-6b-6-5)
bahabi	바하비	(3-7a-3-7) (3-10a-4-4)
bahafi	바하피	(3-4b-4-3)
bahanambi 「できる」	---	---
bahaname	바하나머	(3-14b-1-4)
bahanarakū	바하나라쿠	(3-20b-1-3)
bai 「所/里の」	배	(3-1a-3-6)
baimbi 「探す ; 求める」	---	---
baime	배머	(3-17a-1-2)
baitalambi 「使う」	---	---
baitalame	배타라머	(3-10b-5-5)
bakcilambi 「向かい合う ; 敵対する」	---	---
bakcilame	박치라머	(3-18a-4-5)
baktambumbi 「容赦する」	---	---
baktambume	박탐부머	(3-14b-1-3)
balai 「みだりに」	바래	(3-16a-4-4) (3-23b-3-1)
ban 「漢語坂」 (cang ban 「長坂」)	반	(3-19a-6-3)
banjibumbi 「生ませる ; 養う ; 編纂する ; 創作する」	---	---
banjibume	반지부머	(3-3b-4-7) (3-4a-1-3) (3-17a-4-5)
banjimbi 「暮らす ; 生む ; 生まれる」	---	---
banjifi	반지피	(3-14a-3-4) (3-17b-5-2)
banjiha	반지하	(3-16b-3-5)
banjihabi	반지하비	(3-3b-3-3)
banjihangge	반지항거	(3-15b-6-3)
bargiyambi 「収める」	---	---
bargiyaha	발가하	(3-6a-3-3)
baru 「～に向かって」	바루	(3-1b-5-4) (3-2b-2-4) (3-4b-2-2) (3-5a-4-4) (3-10a-2-1) (3-22b-1-5) (3-22b-6-3) (3-24a-4-7)
bata 「敵」	바타	(3-11b-6-4)
baturu 「勇ましい ; 勇者」	바투루	(3-7b-5-2) (3-13a-3-7) (3-13a-6-7) (3-18b-4-4) (3-20b-5-3)
bayan 「富んだ」	바얀	(3-24b-4-7)
be 「私たち(除外的)」	버	(3-22b-5-2)

be 「を」	며	(3-1a-2-2) (3-1a-5-5) (3-1a-6-4) (3-1b-1-5) ⁴ (3-1b-3-8) (3-2a-3-2) (3-2a-6-6) (3-2b-1-1) (3-2b-3-3) (3-3a-3-4) (3-3a-4-3) (3-3b-1-1) (3-3b-1-5) (3-3b-4-5) (3-3b-6-3) (3-4a-6-8) (3-4b-2-6) (3-4b-5-3) (3-5a-5-3) (3-6a-1-1) (3-6a-1-5) (3-6a-2-1) (3-6a-3-2) (3-6a-3-6) (3-6b-5-3) (3-7a-3-2) (3-7a-4-2) (3-7b-1-6) (3-8b-2-5) (3-8b-3-4) (3-8b-6-3) (3-9a-3-4) (3-9a-5-3) (3-9a-5-7) (3-9b-2-1) (3-9b-2-3) (3-10a-2-4) (3-10a-3-5) (3-10a-5-3) (3-10b-4-1) (3-10b-4-5) (3-10b-5-4) (3-11a-6-5) (3-11b-1-2) (3-11b-1-5) (3-11b-2-2) (3-11b-6-5) (3-12a-1-1) (3-12a-6-4) (3-13a-4-4) (3-13a-4-7) (3-14a-4-5) (3-14b-4-3) (3-14b-5-7) (3-15a-1-3) (3-15a-4-8) (3-15a-6-5) (3-15b-4-3) (3-15b-5-2) (3-15b-6-8) (3-16a-1-5) (3-16a-2-6) (3-16a-4-7) (3-16a-6-2) (3-16b-2-3) (3-16b-2-6) (3-16b-5-2) (3-16b-5-5) (3-17a-6-8) (3-17b-2-4) (3-17b-3-1) (3-17b-5-5) (3-17b-6-1) (3-17b-6-3) (3-18a-1-4) (3-18a-3-2) (3-18b-3-5) (3-19a-3-6) (3-20a-1-6) (3-20a-5-1) (3-20b-5-5) (3-21a-2-4) (3-21a-5-5) (3-21b-4-7) (3-22a-2-3) (3-22a-3-3) (3-22a-4-4) (3-22a-6-8) (3-23a-3-3) (3-23a-4-5) (3-23a-5-1) (3-23b-2-7) (3-23b-4-3) (3-23b-4-6) (3-24a-2-3) (3-24a-3-3) (3-24a-6-9) (3-24b-5-1) (3-25a-5-7) (3-25b-1-6) (3-25b-4-2) (3-26a-6-5)
bederembi 「戻る、帰る、退く」	---	---
bederefi	버드러피	(3-17a-2-2)
bedereme	버드러머	(3-19b-1-3)
benjibumbi 「送ってこさせる」	---	---
benjibuhe	번지부허	(3-4a-3-6)
benjimbi 「送ってくる」	---	---
benju	번쥬	(3-4a-3-4)
betge 「脚」 ⁵	번거	(3-21b-1-1)

⁴ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

⁵ 当該語は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても *bethe* と綴られている。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、*betge* の形で現れている。金東昭 (1990[1977]: 96) も、『三譯総解』(3-21b-1-1) の *betge* に対応する満洲語規範語は *bethe* であると述べている。

なお、『三譯総解』(3-21b-1-1) の *betge* に対応する『滿文三国志』[6:60b/2] および『滿漢合璧三国志』[9:79a/3] の語形について、岸田 (1997) の対校表 175 頁 No. 171 では *betge* と記されているが、これは誤りである。正しくは *bethe* である。岸田 (1997: 84) では、当該の対校表 No. 171 における『滿文三国志』の語形を *bethe* と記している。また、筆者が参照した『滿漢合璧三国志』においても、当該箇所(9-79a-3-13)の語形は *bethe* である。筆者が参照した『滿漢合璧三国志』は、次のウェブサイトを確認できる (最終確認日=2026年2月20日)。

beye 「体 ; 自分」	버여	(3-2b-6-5)
bi 「私」	비	(3-9b-1-4) (3-15a-2-3) (3-15a-4-4) (3-15a-6-6) (3-16a-5-4) (3-19a-3-1) (3-26b-1-1)
bi 「ある ; いる」	비	(3-5b-1-7) (3-5b-5-7) (3-7b-3-6) (3-11a-3-5) (3-11b-5-6) (3-13a-5-2) (3-15a-1-6) (3-19b-3-6) (3-19b-5-3) (3-25b-4-5) (3-26a-4-2)
bici	비치	(3-1b-6-5)
bifi	비피	(3-5a-3-4) (3-17a-3-6) (3-25b-1-3)
bihe	비허	(3-6b-3-5) (3-6b-4-8) (3-10b-1-2)
bihede	비허더	(3-9a-2-6) (3-15a-4-1)
bikai	비캐	(3-26b-2-2)
bimbi ⁶	빔비	(3-13b-6-1) (3-19a-4-5)
bime	비머	(3-2a-3-4) (3-13a-4-1) (3-23a-2-3)
bisire	비시러	(3-4a-2-5) (3-25a-4-2)
bibumbi 「留める」	---	---
biburakū	비부라쿠	(3-26a-2-5)
bithe 「本 ; 字 ; 学識」	빈허	(3-4a-4-1) (3-22a-3-4) (3-24b-2-3)
bithei 「本/字/学識の」	빈헤	(3-2a-2-4)
biyoo 「漢語表」 (lio biyoo 「劉表」)	보	(3-18b-2-5)

https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0773&DMDID=DMDLOG_0001

⁶ Miglioranza (2004: 6) は bi を bimbi の不規則形とみなしている。しかし、両者の間には差異が存在する。bi と bimbi の差異については、黎艷平 (1993)、早田輝洋 (2006)、早田清冷 (2009ab) を参照されたい。なお、満洲語三家子方言における /bi/ と /bi-mi/ については、少なくとも筆者が調査した話者の理解によれば、/bi/ は「ある ; いる」、/bi-mi/ は「住む ; 泊まる」をそれぞれ表す。この点は満洲語文語とは異なる。

bodohon 「謀、計略」 ⁷	보도혼	(3-7b-4-4)
bodombi 「考える ; 計算する」	---	---
bodo	보도	(3-10b-4-7)
bodofi	보도피	(3-10a-4-1)
bodome	보도머	(3-7a-4-3)
boihon 「土」	뵈혼	(3-12b-5-7)
bolhombi 「勝負を決める」	---	---

⁷ 当該箇所**の bodohon** は、『三譯総解 (第三)』原書において arga bodohon jaluka という文脈に出現しており、『満漢合璧三國志』の対応箇所における漢語は「足智多謀」である。したがって、当該箇所**の bodohon** は「謀」を意味すると解釈できる。「謀」を表すこの語は『増訂清文鑑』では bodogon と綴られている。見出し語 bodogon 「謀」を参照されたい。なお、『増訂清文鑑』には bodohon 「墜角寶蓋」も収録されているが、これは本例とは別語である。さらに、「謀」を表すこの語は『大清全書』には bodogon および bodohon の両綴りが収録されている。見出し語 bodogon 「謀畧。智足。」および batoru gojime bodohon akū 「勇而無謀。」を参照されたい。以上の点は、次表のとおりにまとめることができる。

表3：bodogon～bodohon 「謀」と bodohon 「墜角寶蓋」の出現例

	「謀」	「墜角寶蓋」
増訂清文鑑	bodogon (bodogon 「謀」)	bodohon 「墜角寶蓋」
大清全書	bodogon (bodogon 「謀畧。智足。」) bodohon (batoru gojime bodohon akū 「勇而無謀。」)	---
三譯総解	bodohon	---

筆者の確認によれば、「謀」を表すこの語は『三譯総解』全十巻において6例出現しており、いずれも bodohon の形式をとる。一方、『満漢合璧三國志』における対応箇所では、bodogon と綴られる場合が多い。『三譯総解』における6例の bodohon 「謀」の出現箇所および『満漢合璧三國志』における対応語の出現箇所は、次表のとおりである。表中の「岸田対校表番号」とは、岸田(1997)における『三譯総解』・『満文三國志』・『満漢合璧三國志』対校表の番号を指す。

表4：『三譯総解』・『満漢合璧三國志』における bodogon～bodohon 「謀」

	岸田対校表番号	三譯総解	満漢合璧三國志
[1]	---	bodohon (3-7b-4-4)	bodohon (9-73b-5-9)
[2]	248	bodohon (4-22b-2-1)	bodogon (10-11b-5-4)
[3]	307	bodohon (5-9a-6-5)	bodogon (10-16b-7-12)
[4]	460	bodohon (6-14b-1-6)	bodogon (10-29b-4-12)
[5]	596	bodohon (7-19b-5-5)	bodogon (10-42a-7-2)
[6]	767	bodohon (9-6b-5-2)	bodogon (10-100b-5-1)

岸田(1997: 84, 184, 193, 212, 227)によれば、『三譯総解』(4-22b-2-1), (5-9a-6-5), (6-14b-1-6), (7-19b-5-5) (岸田対校表 No. 248, No. 307, No. 460, No. 596、上表の [2]～[5] に相当)の bodohon に対応する『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の当該箇所における語形はいずれも bodogon である。また、岸田(1997: 84, 246)によれば、『三譯総解』(9-6b-5-2) (岸田対校表 No. 767、上表の [6] に相当)の bodohon に対応する『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の当該箇所における語形はそれぞれ bodohon と bodogon である。

一方、『三譯総解』(3-7b-4-4)の bodohon に対応する『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の当該箇所における語形については、岸田(1997: 84, 171)は言及していない。筆者が参照した『満漢合璧三國志』では、『三譯総解』(3-7b-4-4)の bodohon に対応する箇所(9-73b-5-9)の語形は bodohon である。筆者が参照した『満漢合璧三國志』は、次のウェブサイトを確認できる(最終確認日=2026年2月20日)。

https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0762&DMDID=MDLOG_0001

岸田(1997: 154-263)の対校表は、『三譯総解』・『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の三者間に差異が認められる箇所のみを掲げるものであり、一致する箇所は扱っていない。したがって、同対校表において『三譯総解』(3-7b-4-4)の bodohon に対応する形式が言及されていないことは、両書の当該箇所の語形も bodohon であることを、その記述方針から示唆している。一方、岸田(1997: 84)は、『満文三國志』にも bodohon の語形が見られることを強調する際、『三譯総解』(9-6b-5-2) (対校表 No. 767 に相当) に対応する箇所のみを挙げており、『三譯総解』(3-7b-4-4)に対応する箇所については言及していない。

bolhoci ⁸	볼호치	(3-5a-5-4)
boo 「家；部屋」	보	(3-24b-4-2)
boode 「家/部屋に；家/部屋で」	보더	(3-14a-1-4) (3-14a-3-6) (3-15b-4-6) (3-18a-4-3) (3-23b-6-4) (3-25a-2-5)
bošombi 「追い出す」	---	---
bošome	보쇼머	(3-20a-1-7)
bu 「漢語布」 (jang dzy bu 「張子布」) (lio i bu 「呂布」)	부	(3-24a-6-2) (3-5b-6-5) (3-18b-2-3)
bucembi 「死ぬ」	---	---
buceki	부척키	(3-25a-1-3)
buyembi 「愛する；願う」	부염비	(3-4b-5-4) (3-9b-2-4)
buyeme	부여머	(3-13b-2-3) (3-20b-3-6)
buyere	부여러	(3-17b-6-4)
cai 「茶」	채	(3-4a-3-3)
cang 「漢語長」 (cang ban 「長坂」) (guwan yūn cang 「関雲長」)	창	(3-19a-6-2) (3-19b-2-3)
ci 「より」	치	(3-22a-1-2)
ci 「漢語齊(諸侯国名)」	치	(3-13a-3-4)
ci 「漢語琦」 (lio ci 「劉琦」)	치	(3-19b-4-2)
cimari 「明日；朝」	치마리	(3-26b-1-3)
cing 「漢語青」 (cing jeo 「青州」)	칭	(3-6b-4-1)
cira 「顔、顔色」	치라	(3-13b-6-5) (3-17a-2-4) (3-17b-5-4)
cooha 「兵；軍」	초하	(3-5a-6-7) (3-5b-5-4) (3-6a-5-5) (3-6b-4-4) (3-7a-1-3) (3-7a-3-1) (3-9b-5-1) (3-10b-5-3) (3-11b-1-1) (3-19a-3-5) (3-19b-1-1) (3-19b-3-3) (3-19b-4-9) (3-19b-6-2) (3-20b-6-5) (3-21a-3-2) (3-22a-1-4) (3-22a-3-5) (3-22a-6-6) (3-22b-5-6) (3-23a-1-5) (3-23a-6-1) (3-23b-2-6) (3-24a-3-1) (3-24b-1-1) (3-25b-3-5) (3-25b-6-1) (3-25b-6-4)
coohai 「兵/軍の」	초해	(3-4a-4-2) (3-20b-3-1)
cukumbi 「疲れ切る」	---	---
cukuhe	츠크허	(3-19b-6-6)
cuwan 「漢語船」	찬	(3-8b-2-4)

⁸ 当該箇所の bolhoci は、『三譯総解 (第三)』原書において ts'oots'oo i baru etere anabure be bolhoci antaka という文脈に出現しており、『満漢合璧三国志』の対応箇所の漢語は「與曹操共決勝負若何」である。したがって、当該箇所の語幹 bolho- は「勝負を決める」を意味すると解釈される。この意味の動詞語幹 bolho- は、『大清全書』および『増訂清文鑑』ではそれぞれ bolho- と bolgo- と綴られている。『大清全書』における bolhombi 「見個分曉。」などの見出し語および『増訂清文鑑』における bolgombi 「決勝負」などの見出し語を参照されたい。

cuwan 「漢語泉」 ⁹ (cuwan ling 「泉陵」)	촐	(3-1a-3-3)
cuwan 「漢語權」 ¹⁰ (sun cuwan 「孫權」)	촐	(3-1b-3-3) (3-2b-6-4) (3-3a-2-1) (3-3b-1-4) (3-4a-3-2) (3-4b-1-3) (3-5a-2-2) (3-5b-4-3) (3-6a-6-4) (3-7b-2-4) (3-8a-1-2) (3-8a-5-1) (3-9a-1-3) (3-9b-1-2) (3-11a-4-2) (3-11b-3-2) (3-12a-4-1) (3-12b-6-3) (3-13b-6-3) (3-14a-3-2) (3-15b-5-1) (3-15b-6-1) (3-17a-1-5) (3-17b-4-2) (3-18b-1-2) (3-21b-3-2) (3-22a-6-4) (3-22b-4-2) (3-23b-5-4) (3-24a-4-5) (3-25a-2-3) (3-25a-5-4) (3-25b-2-3) (3-26b-2-4)
dabala 「～にすぎない」	다바라	(3-3b-5-2) (3-7a-5-4)
dabambi 「越える」	---	---
dabahabi	다바하비	(3-14b-3-7)
daci 「もとより」	다치	(3-1a-5-2) (3-17a-3-1) (3-18b-1-6)
dagilambi 「準備する」	---	---
dagilafi	다기라피	(3-18a-5-3)
dahambi 「従う；投降する」	---	---
dahaci	다하치	(3-26a-2-1)
dahacibe	다하치버	(3-20b-2-7)
dahafi	다하피	(3-11a-6-6) (3-13b-5-2)
dahaha	다하하	(3-6a-4-4)
dahahangge	다하항거	(3-20b-3-5) (3-20b-4-1)
dahaki	다하키	(3-24b-2-1)
dahame	다하머	(3-1a-5-6) (3-1b-2-1) (3-4b-4-5)
dahara	다하라	(3-11b-5-4)
daharakū	다하라쿠	(3-9a-6-1) (3-12b-4-1) (3-13a-2-1)
dailambi 「征伐する」	---	---
dailame	대라머	(3-23a-5-2)
dalbade 「傍らに/で」	달바더	(3-3a-5-7)
dalimbi 「遮蔽する；追い立てる；保護する」	---	---
dalihabi	다리하비	(3-8b-3-5)
damu 「もっぱら；ただ；しかし」	다무	(3-5b-1-4) (3-9a-4-4) (3-13b-4-1) (3-18b-5-4) (3-19a-1-3)
dasatambi 「整える；身繕いする；修理する」	다사탐비	(3-8b-2-6)
dasatame	다사타머	(3-17b-2-5)

⁹ 『對音輯字』(下巻第 35 葉 a 面)では、漢字「泉」に対応する満洲文字は ciowan である。一方、『三譯総解』における「泉陵」の満洲文字表記は、cuwan ling の形で現れている。

¹⁰ 『對音輯字』(下巻第 37 葉 b 面)では、漢字「權」に対応する満洲文字は kiowan である。一方、『三譯総解』における「孫權」の満洲文字表記は、sun cuwan の形で現れている。

de 「こ ; で」	더	(3-2a-1-2) (3-2a-4-4) (3-2b-1-4) (3-2b-5-3) (3-3a-1-4) (3-3a-5-2) (3-4a-1-5) (3-4a-2-6) (3-4a-5-1) (3-4b-4-2) (3-5a-1-1) (3-5a-1-6) (3-5a-3-3) (3-5a-3-7) (3-5a-6-6) (3-5b-3-5) (3-6b-3-4) (3-8a-1-5) (3-8a-3-4) (3-8a-3-7) (3-10a-1-3) (3-10a-6-1) (3-10b-6-3) (3-11a-1-3) (3-11b-5-2) (3-11b-6-2) (3-12b-1-4) (3-12b-3-5) (3-13b-1-3) (3-13b-3-1) (3-14b-1-7) (3-15b-2-5) (3-17a-3-3) (3-17a-6-3) (3-19a-6-4) (3-19b-2-4) (3-19b-4-3) (3-20b-1-1) (3-20b-2-6) (3-20b-3-3) (3-21a-4-2) (3-22a-3-8) (3-22a-5-4) (3-22b-2-4) (3-22b-4-3) (3-23b-2-4) (3-24b-1-5) (3-24b-4-5) (3-25a-1-1) (3-25a-4-3) (3-25b-3-4)
dedumbi 「横になる」	---	---
deduci	더두치	(3-25a-2-6)
dedure	더두리	(3-25b-1-4)
dehi 「四十」	더히	(3-6b-4-5) (3-6b-6-2)
den 「高い」	던	(3-24b-4-1)
dere 「顔 ; 机 ; 方」	더리	(3-11b-2-1) (3-14b-1-6) (3-14b-4-2)
dergi 「上 ; 東」	덜기	(3-7b-1-4) (3-9b-5-5) (3-12b-5-1)
ding 「漢語鼎」	딩	(3-21a-6-7)
dobori 「夜」	도보리	(3-20a-2-4)
doigošombi 「予め備える」 ¹¹	---	---
doigošome	되고쇼머	(3-12b-3-3)
doigonde 「予め」	되곤더	(3-11a-1-1)
dolo 「内 ; 心中 ; 腹中」	도로	(3-25a-3-8) (3-25b-5-2)
dolori 「内側 ; 心密かに」	도로리	(3-3b-4-1)
donjimbi 「聴く」	---	---
donjici	돈지치	(3-20a-1-2) (3-22b-5-3)
donjifi	돈지피	(3-3a-3-5) (3-15b-4-4) (3-22b-1-1) (3-26b-3-1)
donjire	돈지러	(3-9b-2-2)
doombi 「川を渡る」	---	---
doome	돗머	(3-16a-2-1)
dorgi 「内」	돌기	(3-9b-3-5) (3-11b-6-1)
doro 「道理 ; 礼儀」	도로	(3-10b-3-5)
dosimbi 「入る ; 進む ; 進撃する」	---	---

¹¹ 当該動詞の語幹は、『増訂清文鑑』では doigomšo- と綴られている。見出し語 doigomšombi 「預先備用」を参照されたい。一方、『三譯総解』の当該箇所では、doigošome の形で現れており、s の前に m がない。なお、岸田 (1997: 173) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はそれぞれ doigošome と doigomšome である。

dosifi	도시피	(3-15b-4-7) (3-18a-4-4) (3-22b-3-3) (3-23b-2-5) (3-24a-4-3)
dosika	도시카	(3-14a-1-5) (3-14a-3-7) (3-14b-2-2) (3-23b-6-5)
dosikabi	도시카비	(3-22b-2-5)
dosime	도시머	(3-2b-1-2)
dosire	도시러	(3-13b-3-2)
dube 「先端」	두버	(3-20a-4-6)
duibulembi 「比較する」	---	---
duibuleci	뒤부러치	(3-8a-1-6)
duin 「四」	뉘	(3-5b-1-6) (3-10a-5-6)
duka 「門」	두카	(3-2a-6-9)
dulimbai 「中央の」	두림배	(3-2a-6-8) (3-10b-6-1)
dulin 「半分」	두린	(3-10a-4-3)
dumbi 「打つ」 ¹²	---	---
dume	두머	(3-23a-2-6)
dung 「漢語東」 (liyoo dung 「遼東」)	둥	(3-6a-3-5)
dzung 「漢語仲」 ¹³ (dzung mu 「仲謀」)	중	(3-26a-5-5)
dzung 「漢語琮」 ¹⁴ (lio dzung 「劉琮」)	중	(3-6a-4-2)
dzy 「漢語子」 ¹⁵ (dzy jing 「子敬」) (jang dzy bu 「張子布」)	즈	(3-4b-2-7) (3-24a-6-1)
eberi 「及ばない；弱い」	어버리	(3-7a-5-5)
ebubumbi 「降ろす」	---	---
ebubuhe	어부부허	(3-22a-5-5)
ebuhu (ebuhu sabuhū 「慌てふためいて」)	어부후	(3-17b-2-1) (3-22b-3-1) (3-24a-4-1)
efulembi 「壊す；齧す」	---	---
efuleci	어푸러치	(3-21a-2-5)

¹² 当該動詞語幹は、文献によっては tū- と du- の両綴りが存在する (池上 1955: 457)。『三譯総解』の当該箇所では、du- の形で現れている。

¹³ 『對音輯字』(下巻第 8 葉 a 面) では、漢字「仲」に対応する満洲文字は jung である。一方、『三譯総解』における「仲謀」の満洲文字表記は、dzung mu の形で現れている。なお、岸田 (1997: 178) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所における語形はそれぞれ dzung mu (印刷が不鮮明で、あるいは dzung mo にも読める) と dzung moo である。

¹⁴ 『對音輯字』(下巻第 11 葉 b 面) では、漢字「琮」に対応する満洲文字は ts'ung である。一方、『三譯総解』における「劉琮」の満洲文字表記は、lio dzung の形で現れている。

¹⁵ 満洲文字において漢語 c, z, r, s, ch, zh など (便宜上、ここでは漢語音をピンインで表記する) に対応する文字のメンドルフ式転写については、von Möllendorff (1892) 本文前の THE ALPHABET 表下の For transcribing Chinese syllables、および早田輝洋 (2008: 32) を参照されたい。なお、早田輝洋 (2008: 32) は、メンドルフ式転写を改良する独自の転写案を提示している。例えば、漢語の z, zi に対応する満洲文字の転写を区別し、それぞれ dz, dzY と転写する。本稿でも早田輝洋 (2008: 32) に従って両者を区別するが、後者については dzy と転写する。

efulefi	어푸리피	(3-1a-6-5) (3-10a-5-4)
efulehe	어푸리허	(3-6a-1-2) (3-23a-3-4)
efulere	어푸리러	(3-15a-1-4)
ejelembi 「占領する」	---	---
ejelehebi	어저러허비	(3-9b-5-7)
ejen 「君主；主」	어전	(3-13a-4-6) (3-14a-6-3) (3-15a-4-6) (3-16b-2-1) (3-16b-6-2) (3-22b-5-4) (3-24a-6-7) (3-24b-6-1)
ekiyehun 「欠乏した」	어켜훈	(3-23a-2-2)
elbembu 「覆う；茅を葺く」	---	---
elbehebi	얼버허비	(3-13b-1-4)
eldengge 「光に輝いた」	얼덩거	(3-3b-3-2)
elekei 「ほとんど」	어리케	(3-17b-1-1)
elhe 「安らかな；緩やかな」	얼허	(3-25a-3-2)
eljembu 「抗う」	---	---
eljeci	얼저치	(3-10b-1-4) (3-23b-1-2)
eljeme	얼저머	(3-10b-6-4) (3-11a-2-2)
eljerakū	얼저라쿠	(3-12b-1-5)
emgeri 「一度；既に」	엄거리	(3-15b-2-2) (3-23a-2-5)
emgi 「一緒に」	엄기	(3-2a-6-4) (3-21a-1-5)
emu 「一」	어무	(3-7a-4-5) (3-11a-3-3) (3-16a-2-3) (3-17a-5-2) (3-18a-5-6) (3-18b-4-2) (3-19b-3-4) (3-20a-2-1) (3-20a-2-3) (3-20b-6-2)
enenggi 「今日」	어녕기	(3-4b-3-2) (3-22a-1-1)
erdemu 「才徳」	얼더무	(3-3a-3-3) (3-4b-2-5) (3-4b-6-5) (3-13b-1-1)
erdemungge 「才徳のある」	얼더몽거	(3-10a-6-4)
ere 「この；これ；この人」	어러	(3-3b-4-3) (3-4a-1-6) (3-7a-4-1) (3-12b-1-7) (3-14a-5-6) (3-16a-4-2) (3-21b-2-4) (3-23b-3-4)
ergi 「方向」	얼기	(3-4a-4-5)
erin 「時」	어린	(3-17a-5-3)
etembu 「勝つ」	---	---
eterakū	어터라쿠	(3-25b-6-6)
etere	어터러	(3-5a-5-1) (3-21b-2-1)
etenggi 「強い」	어팅기	(3-12b-1-3)
etuku 「服」	어투쿠	(3-17b-2-3)
eyun 「姉」	어윤	(3-26a-6-2)
facambu 「解散する」	---	---
facaha	파차하	(3-14a-2-4)
facuhūrambu 「乱れる」	---	---
facuhūrara	파츠후라라	(3-9b-4-1)
fafuršambu 「発奮する」	---	---
fafuršame	파풀샤머	(3-7b-5-5)

faidambi 「整列する、並ぶ」	---	---
faidame	패다머	(3-4a-5-2)
faššambi 「努力する」	---	---
faššame	파샤샤머	(3-24b-6-5)
fejergi 「下」	퍼절기	(3-1b-3-5) (3-7b-3-1) (3-10a-2-3)
fejile 「下(に)」	퍼지러	(3-13b-5-5) (3-19a-4-3)
feniyen 「群れ」	퍼년	(3-15b-1-1)
fonde 「時に」	폰더	(3-6b-3-6)
fondolombi 「突き通す」	---	---
fondolome	폰도로머	(3-20a-5-2)
fonjimbi 「問う」	---	---
fonjiha	폰지하	(3-5a-1-5)
fonjime	폰지머	(3-11a-4-3) (3-25a-6-5)
fonjirakū	폰지라쿠	(3-15a-2-1) (3-17a-1-3)
fonjire	폰지러	(3-2a-4-3) (3-3b-6-2)
forombi 「向く ; 振り向く ; 紡ぐ」	---	---
forofi	포로피	(3-11b-2-4)
fu 「漢語覆 (gung fu 「公覆」)	푸	(3-1a-5-1)
fujin 「福晋(王や貝勒の妻、夫人)」	푸진	(3-25a-5-2) (3-26a-5-2)
fulahūn 「淡紅 ; 裸 ; 赤地(せきち) ; 赤貧 ; 丁」	푸라훈	(3-3b-2-4)
fulenggi 「灰」	푸링기	(3-12b-5-8) (3-15b-3-1)
funcembi 「余る」	푼첨비	(3-6a-6-2) (3-7a-2-1) (3-7b-6-3)
funchebi	푼쳐허비	(3-18b-6-3)
funceme	푼쳐머	(3-20a-2-8)
funcere	푼쳐러	(3-7a-5-3)
fusihūlambi 「輕蔑する」	---	---
fusihūlame	푸시후라머	(3-14b-3-5)
gaimbi 「とる」	갬비	(3-9a-1-1)
gaifi	개피	(3-20b-6-6) (3-21b-5-1) (3-23a-4-6)
gaijara	개자라	(3-25b-4-3)
gaiki	개키	(3-8b-6-4)
gaime	개머	(3-14b-6-2) (3-16b-3-1)
gaitai 「突然」	개태	(3-17b-4-7)
gajimbi 「持って/取って/連れてくる ; 取り/連れに来る」 ¹⁶	---	---
gajifi	가지피	(3-16a-2-7)
gajiha	가지하	(3-16a-4-8)

¹⁶ gajimbi の意味については、早田輝洋 (1993) を参照されたい。

gala 「手」	가라	(3-3a-2-2) (3-15b-2-3)
gamambi 「持って/取って/連れて行く」	---	---
gamafi	가마피	(3-25a-6-4)
gamaki	가마키	(3-18a-3-4)
gamame	가마머	(3-2a-6-7)
ganambi 「取り/連れに行く」	---	---
ganafi	가나피	(3-17b-3-3)
ganara	가나라	(3-15a-4-9)
gebu 「名」	거부	(3-1a-4-3) (3-1a-4-6) (3-11b-5-5) (3-23a-6-4)
gegešemi 「こっくりする」 ¹⁷	---	---
gegešeme	거거셔머	(3-2b-4-3)
gelembi 「恐れる」	---	---
geleme	거리머	(3-20b-3-4)
geli 「また」	거리	(3-1b-1-2) (3-5b-3-2) (3-6b-6-1) (3-7a-3-3) (3-7b-3-4) (3-8a-6-1) (3-12a-5-2) (3-24a-6-6) (3-26a-3-1)
gemu 「皆」	거무	(3-12b-5-6) (3-14a-2-2) (3-15b-2-6) (3-18b-5-2) (3-21b-2-3) (3-25b-1-7)
genembi 「行く」	거넘비	(3-21a-4-6)
genefi	거너피	(3-16a-2-2)
genere	거너러	(3-2b-1-3)
genggiyen 「清い；聡明な」	경견	(3-5a-1-2) (3-6b-2-3) (3-9a-5-1) (3-12b-3-1)
geren 「多くの；すべての；衆人」	거런	(3-2a-2-3) (3-11a-6-1) (3-12a-6-3) (3-13b-2-1) (3-14a-2-1) (3-15a-6-4) (3-19a-3-4) (3-19b-6-1) (3-22b-1-2) (3-23a-4-4) (3-25b-6-5)
gese 「～のような」	거셔	(3-1b-6-3) (3-9b-1-8) (3-10b-6-6) (3-16a-4-3) (3-26b-4-1)
getembi 「目覚める」	---	---
getehe	거터허	(3-26b-3-6)
geterembumbi 「清潔にする；全滅させる」	---	---
geterembuki	거터럼부키	(3-10a-3-6)
gidabumbi 「圧迫される；隠させる；塩漬けにさせる；鶏に卵を抱かせる；打ち負かされる；魔される」	---	---
gidabucibe	기다부치머	(3-19a-6-6)
gidabuha	기다부하	(3-21a-4-1)

¹⁷ 当該語の語幹は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても *geheše-* と綴られている。『大清全書』の見出し語 *gehešemi* 「點頭。打盹之状。」および『増訂清文鑑』の見出し語 *gehešemi* 「點頭」「點頭呼喚」「瞌睡」を参照されたい。これに対し、『三譯総解』の当該箇所では、*gegešeme* の形で現れており、語幹は *gegeše-* の形式をとっている。また、『三譯総解』には *geheše-* の語幹形も存在する。その出現箇所は(1-9b-2-6)である(王海波 2026: 13 参照)。

gidambi 「押さえる ; 隠す ; 打ち負かす ; 頭を垂れる ; 塩漬けにする ; 鳥が卵を抱く」	---	---
gidafi	기다피	(3-11b-3-4)
girubumbi 「辱める」	기루뽀비	(3-5a-1-7)
girubuhakū	기루부하쿠	(3-13a-5-1)
gisun 「言葉」	기순	(3-1b-6-4) (3-2b-3-2) (3-3a-6-4) (3-9a-5-6) (3-9b-1-9) (3-11a-6-4) (3-13a-1-1) (3-14a-5-7) (3-14b-3-4) (3-14b-5-6) (3-15b-4-2) (3-16b-2-5) (3-18a-3-1) (3-21b-4-4) (3-23b-2-3) (3-26a-6-4)
gisurembi 「話す」	기수럼비	(3-15a-2-5)
gisureci	기수러치	(3-3b-5-5)
gisurefi	기수러피	(3-22b-2-7)
gisurehe	기수러히	(3-2b-3-1) (3-4a-1-4) (3-17a-4-6)
gisurerakū	기수러라쿠	(3-2a-1-3)
gisurere	기수러러	(3-3b-5-1) (3-16a-4-5)
giyan 「理」	간	(3-12b-2-2)
giyang 「漢語江」 (giyang han 「江漢」) (giyang hiya 「江夏」)	강	(3-7b-1-2) (3-8b-1-4) (3-8b-5-2) (3-9b-5-3) (3-9b-6-5) (3-12b-4-3) (3-16a-1-4) (3-25b-3-7) (3-25b-3-2) (3-19b-4-5)
goidambi 「長引く」	---	---
goidaha	괴다하	(3-4b-3-1)
golombi 「驚く」	---	---
golorahū	고로라후	(3-7b-2-1)
goro 「遠い」	고로	(3-19b-6-3)
gu 「玉(ぎょく)」	구	(3-9b-1-6)
gui 「玉(ぎょく)の」	귀	(3-1b-6-2)
gung 「漢語功」	궁	(3-1a-6-6) (3-1b-2-4)
gung 「漢語公」 (ejen gung 「主公」) (genggiyen gung 「明公」) (gung fu 「公覆」) (ts'oo gung 「曹公」)	궁	(3-8a-1-4) (3-15a-4-7) (3-16b-2-2) (3-16b-6-3) (3-22b-5-5) (3-24a-6-8) (3-24b-6-2) (3-5a-1-3) (3-6b-2-4) (3-9a-5-2) (3-12b-3-2) (3-1a-4-7) (3-22b-6-1) (3-23a-1-2)
gurun 「国」	구룬	(3-10a-3-4) (3-10b-6-2) (3-13a-3-5) (3-21a-6-3)
guwan 「漢語関」 (guwan yūn cang 「関雲長」)	관	(3-19b-2-1)
guwebumbi 「赦免する」	---	---
guwebure	귀부러	(3-17b-6-2)

gūnimbi 「思う」	---	---
gūnici	구니치	(3-7a-4-4)
gūnifi	구니피	(3-24a-3-7)
gūnihai	구니해	(3-26b-2-1)
gūnihangge	구니항거	(3-18b-2-1)
gūnimbio	구님보	(3-8a-6-4)
gūnime	구니머	(3-3b-4-2) (3-4a-2-4)
gūnin 「心；意；考え」	구닌	(3-9a-2-5) (3-21b-6-2) (3-25b-1-2) (3-25b-4-4)
gūsin 「三十」	구신	(3-7a-1-6) (3-7a-3-5)
gūwa 「別の；別の人」	귀	(3-8a-6-2)
g'ai 「漢語蓋」 (hūwang g'ai 「黄蓋」)	개	(3-1a-4-4) (3-2a-5-3)
hafan 「官吏」	하판	(3-1b-4-2) (3-12b-5-4)
hafasa 「諸官」	하파사	(3-4a-4-3) (3-22a-3-7) (3-24b-3-1)
hahi 「緊急な；性急な」	하히	(3-12a-1-4)
hala 「姓」	하라	(3-1a-4-1)
halanjambi 「次々に交替する」	---	---
halanjame	하란자머	(3-2a-4-1)
han 「君主、皇帝」	한	(3-13a-6-4)
han 「漢語漢」 ¹⁸ (giyang han 「江漢」)	한	(3-25b-3-3)
haran 「故」	하란	(3-13b-4-5)
hebedembi 「相談する」 ¹⁹	---	---
hebedere	허버더러	(3-21b-6-5)
hebei (hebei amban 「参贊大臣 議政大臣」)	허베	(3-11a-6-2) (3-22b-1-3)
hefeliyembi 「懷中する」	---	---
hefeliyehebi	허퍼려허비	(3-12a-1-2)
hendumbi 「言う」	---	---
henduhe	헌두허	(3-1a-2-3)
henduhengge	헌두형거	(3-12a-5-8)
hendume	헌두머	(3-1b-5-5) (3-2a-2-2) (3-2b-2-5) (3-4b-2-3) (3-4b-6-2) (3-5a-2-3) (3-5a-6-2) (3-5b-5-1) (3-5b-6-2) (3-6b-1-1) (3-6b-2-2) (3-7b-2-5) (3-7b-4-2) (3-8a-1-3) (3-8a-2-3) (3-8a-5-2) (3-8b-1-2) (3-9a-1-4) (3-9a-4-3) (3-9b-1-3) (3-9b-3-2) (3-11a-5-4) (3-11b-4-3) (3-12a-5-

¹⁸ 早田輝洋 (2009: 139) が指摘しているように、「皇帝」を表す han における n には左側に付点が付かないのに対し、「漢」を表す han の n には左側に付点が付く。一方、『三譯総解』の当該箇所における han 「漢」の n には、左側の付点が見られない。

¹⁹ 当該動詞の語幹は、『増訂清文鑑』では hebde- と綴られている。見出し語 hebdembi 「商量」を参照されたい。一方、『大清全書』には hebde- と hebede- の両綴りが収録されている。見出し語 hebdefi gingguleme wesimbuhe 「謹會題。合詞具題。」および hebedembi 「商議。」を参照されたい。

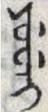
		3) (3-12b-6-4) (3-13a-3-1) (3-14a-5-1) (3-14b-5-3) (3-15a-3-3) (3-15a-5-2) (3-16a-1-2) (3-16a-5-3) (3-16b-1-5) (3-17a-2-6) (3-17b-3-4) (3-18a-1-6) (3-18b-1-3) (3-19a-5-2) (3-21b-3-5) (3-22b-5-1) (3-24a-4-8) (3-25b-2-4) (3-26a-5-4)
heng 「漢語橫」 (tiyan heng 「田橫」)	흥	(3-13a-3-3)
hengkilembi 「叩頭する」	---	---
hengkileme	헝키러머	(3-3a-1-2)
heo 「漢語侯」 (u heo 「呉侯」)	호	(3-2b-6-2)
hiowande 「漢語玄德」 (lio hiowande 「劉玄德」)	환더	(3-3a-6-2) (3-5a-3-6)
hiya 「漢語夏」 (giyang hiya 「江夏」)	하	(3-19b-4-6)
hocikon 「美しい」	호치콘	(3-24b-3-4)
holtombi 「騙す」	홀툼비	(3-6b-1-3)
hono 「なお ; 少しも」	호노	(3-13a-4-2) (3-23a-1-4)
horon 「威」	호론	(3-7b-5-3) (3-10a-5-5) (3-20b-3-2) (3-23a-6-5)
horonggo 「威力/威勢のある」	호룽고	(3-17b-5-3)
hošo 「角 ; 隅 ; 方位」	호쇼	(3-10a-5-7)
hoton 「城」	호톤	(3-5b-2-3)
hukun 「塵埃 ; 堆肥」	후쿤	(3-15b-2-7)
hūlha 「泥棒」	홀하	(3-1a-6-3)
hūlhambi 「盜む」	---	---
hūlhame 「密かに」	홀하머	(3-3b-1-6)
hūncihin 「親類」	훈치힌	(3-13a-6-6)
hūsun 「力」	후순	(3-10b-4-4) (3-21a-2-1)
hūwang 「漢語黃」 (hūwang g'ai 「黃蓋」)	황	(3-1a-4-2) (3-2a-5-2)
i 「の ; で」	이	(3-1a-6-2) (3-1b-3-4) (3-2a-2-7) (3-2a-6-3) (3-3a-6-3) (3-3b-5-4) (3-4a-6-6) (3-5a-4-3) (3-5b-5-3) (3-6a-5-4) (3-6b-4-3) (3-7a-2-5) (3-7b-5-4) (3-8b-4-3) (3-9b-1-7) (3-10a-1-6) (3-10b-3-4) (3-12a-5-5) (3-12a-5-7) (3-12a-6-2) (3-12b-1-2) (3-12b-5-3) (3-13a-1-2) (3-13a-3-6) (3-13a-6-5) (3-13b-5-4) (3-15a-6-1) (3-15b-1-2) (3-16b-5-7) (3-17a-2-5) (3-17a-6-1) (3-17b-4-3) (3-18b-1-5) (3-19a-1-5) (3-19b-3-2) (3-19b-4-7) (3-20a-4-3) (3-20a-4-5) (3-20a-6-5) (3-20b-2-3) (3-21a-1-4) (3-21a-2-2) (3-21a-6-4) (3-21b-1-2) (3-22a-3-6) (3-

		22a-6-5) (3-23a-5-4) (3-24a-1-5) (3-24a-4-6) (3-24a-6-3) (3-24b-2-4) (3-25a-5-5) (3-26a-6-3)
ice 「新しい」	이쳐	(3-6a-4-3) (3-7a-1-1)
ilan 「三」	이란	(3-5b-1-5) (3-20a-2-5)
ilibumbi 「立たせる ; 立てる ; 止める」	---	---
ilibufi	이리부피	(3-1a-6-8)
ilibuha	이리부하	(3-7a-1-2)
ilibuhabi	이리부하비	(3-1b-2-5)
ilimbi 「立つ ; 起きる ; 止まる ; 休む」	---	---
ilifi	이리피	(3-4a-6-4) (3-8b-2-2) (3-9b-5-2) (3-14a-1-2) (3-22a-1-5) (3-22b-5-7) (3-23b-6-2)
ilihabi	이리하비	(3-4a-5-3)
ilihangge	이리항거	(3-8b-5-1)
ilire	이리러	(3-22a-6-7) (3-24b-1-3)
inenggi 「日」	이닝기	(3-12a-2-4) (3-20a-2-2)
ing 「漢語營」	잉	(3-8b-2-1) (3-8b-4-8)
ini 「彼の ; 彼女の」	이니	(3-3b-6-1)
injecembi 「一緒に笑う」	---	---
injeceme	인저쳐머	(3-14a-2-3)
injembi 「笑う」	---	---
injeme	인저머	(3-14b-5-2) (3-16b-1-3)
inu 「そうだ ; 是 ; も」	이누	(3-9b-6-4) (3-12a-4-2) (3-16a-5-5) (3-18a-1-2) (3-19b-4-4)
ioi 「漢語豫」 (lio ioi jeo 「劉豫州」)	위	(3-5a-6-4) (3-9b-6-2) (3-10b-2-4) (3-13a-1-6) (3-13a-6-2) (3-18b-3-1) (3-18b-5-6) (3-19a-5-4) (3-20a-1-4) (3-21a-1-2)

iowai 「漢語越」 ²⁰ (u iowai 「吳越」)	왜	(3-10b-5-2)
irgen 「民」	일건	(3-12b-5-5) (3-20b-2-4)
ishunde 「互いに」	잇훈더	(3-3a-3-7) (3-18a-5-4)
isimbi 「足りる ; 至る、及ぶ、 届く」	---	---
isime	이시머	(3-19b-5-2)
isirakū	이시라쿠	(3-5b-1-2) (3-11a-1-4)
isinambi 「着く、至る」	---	---
isinafi	이시나피	(3-2b-5-4)
isinjimbi 「到来する」	이신짐비	(3-12a-3-1)
jabšan 「僥倖」	잡산	(3-4b-4-1)
jabumbi 「答える」	---	---
jabuha	자부하	(3-2b-4-4)
jabuhakū	자부하쿠	(3-11b-4-1) (3-12a-4-5) (3-23b-6-1)
jaburakū	자부라쿠	(3-2a-4-5)
jabure	자부러	(3-4a-6-7)
jafambi 「取る ; 掴む ; 捕らえる、 逮捕する ; 氷が張り詰める ; 交わりを結ぶ」	---	---
jafara	자파라	(3-16b-5-3)
jai 「第二 ; 再び ; 更に」	재	(3-8b-6-7) (3-21b-6-4)

²⁰ 『對音輯字』(下巻第36葉b面)では、漢字「越」に対応する満洲文字は *yuwei* である。一方、『三譯総解』における「吳越」の満洲文字表記は、満洲文字表記では *u iowai* に対応する形で現れ、ハングル表記では「우 왜」の形で現れている。また、岸田(1997: 172)によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所における語形は、それぞれ *u iowai* と *u iowei* である。なお、鋤田(2007: 227-228)が掲げる『満文金瓶梅』音節表では、漢字「越」に対応する満洲文字は *yuwei* と記されている(228頁最右列)。すなわち、漢字「越」に対応する満洲文字には、*yuwei* (『對音輯字』・『満文金瓶梅』)、*iowei* (『満漢合璧三国志』・『三譯総解』)と、*iowai* (『満文三国志』・『三譯総解』)という三種の形式が確認される。『對音輯字』・『満漢合璧三国志』・『三譯総解』における語形は次表のとおりである。*yuwei*, *iowei*, *iowai* のうち、*iowai* は誤記である可能性がある。一方、岸田(1994: 14)によれば、満洲字千字文においては、漢字「月」・「日」に対応する満洲文字にも複数の形式が存在し、その中には *iowai* の形式が見られる。

表5: 漢字「越」の満洲文字表記

		
『對音輯字』 (下-36b)	『満漢合璧三国志』 (9-74b-7-13)	『三譯総解』 (3-10b-5-2)
<i>yuwei</i>	<i>iowei</i>	<i>iowai</i>

また、『同文類解』(1-31b-8-2)における国号「越」の満洲語文語は、ハングル表記で「꺄」²¹と記されており、満洲文字の *yuwei* あるいは *iowei* に対応すると考えられる。この表記は、『三譯総解』(3-10b-5-2)に見られる「왜」とは異なっている。一方、『同文類解』(1-39a-9-1/2)における「節鉞」の満洲語文語は、ハングル表記で「[꺄] 꺄」²²と記され、「鉞」は「꺄」に対応する。この「꺄」は、*yu/io* と *ye* の切音を表すものと推定されるが、通常の満洲語表記には見られない形式であり、誤記の可能性も否定できない。

しかし、『音韻逢源』貞集第7葉b面において、漢字「鉞」や「越」に対応する満洲文字表記は「」²³となっており、*yu* と *ye* の切音を表すものである。

jailambi 「避ける」	---	---
jailame	재라머	(3-10b-2-6)
jakade 「～の所に/で ;～ので」	자카더	(3-9b-4-2) (3-16a-6-4) (3-20a-3-2)
jakan 「今し方」	자칸	(3-19a-6-5)
jakarambi 「裂ける」	---	---
jakarame 「～に沿って」	자카라머	(3-8b-1-6)
jalan 「世 ; 世代 ; 節 ; 兵の一隊 ; 甲喇(軍団の単位)」	자란	(3-2a-2-6) (3-13b-1-2)
jalin 「為」	자린	(3-24b-6-4)
jalumbi 「満ちる」	---	---
jaluka	자루카	(3-7b-4-5)
jang 「漢語張」 (jang dzy bu 「張子布」) (jang joo 「張昭」)	장	(3-24a-5-2) (3-22a-6-1) (3-22b-4-5) (3-24a-1-3)
jeku 「穀物 ; 糧食」	저쿠	(3-1b-3-6) (3-5b-3-1) (3-23a-5-5)
jembi 「食べる」	---	---
jeci	저치	(3-25a-3-4)
jetere	저터러	(3-25b-1-5)
jeo 「漢語州」 (cing jeo 「青州」) (jing jeo 「荊州」) (lio ioi jeo 「劉豫州」) (yan jeo 「兗州」)	조	(3-6b-4-2) (3-7a-2-4) (3-10a-5-2) (3-20b-2-2) (3-21a-5-4) (3-5a-6-5) (3-9b-6-3) (3-10b-2-5) (3-13a-1-7) (3-13a-6-3) (3-18b-3-2) (3-18b-5-7) (3-19a-5-5) (3-20a-1-5) (3-21a-1-3) (3-6b-3-3)
jergi 「階級 ; 類い ; 回 ; 凡庸な」	절기	(3-1b-2-3) (3-3a-5-5) (3-18a-6-2) (3-24a-1-6) (3-24a-6-4)
jeyen 「刃」	저연	(3-24b-6-7)
jili 「怒り」	지리	(3-3b-4-6) (3-4a-1-2) (3-14a-3-3) (3-15b-6-2) (3-16b-3-4) (3-17a-2-1) (3-17a-4-4) (3-17a-6-2) (3-17b-5-1)
jimbi 「来る」	---	---
jihe	지허	(3-10b-2-8)
jihebi	지허비	(3-19b-1-5) (3-24a-3-5)
jime	지머	(3-19b-6-5)
jio	조	(3-25a-6-2)
jing 「漢語荊」 (jing jeo 「荊州」) (jing ts'u 「荊楚」)	징	(3-7a-2-3) (3-10a-5-1) (3-20b-2-1) (3-21a-5-3) (3-8a-5-5)
jing 「漢語敬」 (dzy jing 「子敬」)	징	(3-4b-2-8)

jiyan 「漢語堅」 (sun jiyān 「孫堅」)	잔	(3-1a-5-4)
jiyangjiyūn 「漢語將軍」 ²¹	장원	(3-2a-1-1) (3-5b-1-3) (3-7b-3-3) (3-9b-4-3) (3-10b-3-1) (3-11b-4-4) (3-20b-5-2) (3-20b-5-4) (3-23a-2-1)
jobolon 「憂い；災難；喪」	조보론	(3-12a-2-6)
joo 「漢語昭」 (jang joo 「張昭」)	쵸	(3-22a-6-2) (3-22b-4-6) (3-24a-1-4)
jortai 「故意に」	졸태	(3-17a-4-3) ²²
jug'oliyang 「漢語諸葛亮」	쥬고량	(3-1a-2-1) (3-7a-6-1) (3-8a-2-4) (3-15b-2-1) (3-18a-2-2)
julergi 「南；前」	쥬얼기	(3-8b-6-2) (3-10a-1-2) (3-23a-4-7) (3-25b-4-1)
julge 「昔」	줄거	(3-12a-5-4)
jurgan 「行；筋；義；部院(中央官庁)」	줄간	(3-3b-5-3) (3-13a-4-3)
juse 「子供達；子供」 ²³	쥬서	(3-24b-3-7)
juwan 「十」	쥬완	(3-19a-3-2)
juwe 「二」	쥬위	(3-4a-4-4) (3-7b-6-1) (3-18b-6-1)
kadalambi 「管轄する」	---	---
kadalambime	카다람비머	(3-19a-4-1)
kadalara	카다라라	(3-1b-4-1)
kai 「指定や断定の終助詞」	캐	(3-5a-4-1) (3-12a-3-2) (3-12b-2-3) (3-13b-4-6) (3-15b-3-3) (3-16b-6-1) (3-18b-3-6) (3-21b-2-6) (3-23b-5-2)
karmambi 「保護する」	---	---
karmaci	칼마치	(3-11a-3-6) (3-11a-5-1)
karmame	칼마머	(3-19a-1-8)
karulambi 「報いる」	---	---
karulaha	카루라하	(3-3a-2-4)
kenehunjembi 「疑う」	---	---
kenehunjeme	키너훈저머	(3-25a-4-1) (3-26a-3-5)
kiru 「旗」	키루	(3-8b-3-2)
komso 「少ない」	콌소	(3-4b-6-4) (3-12a-6-1) (3-17b-4-5) (3-23a-1-6) (3-25b-6-2) ²⁴
kundulembi 「敬う」	쿤두럼비	(3-3a-4-1)

²¹ 当該語は『増訂清文鑑』では jiyangjiyūn と綴られている。『大清全書』には jiyangjiyūn と jiyangjiyūn の両綴りが収録されている。なお、『大清全書』には ilhi jiyangciyūn 「副將軍。」という語も収録されており、jiyangciyūn の語形が見られるが、誤記である可能性が高い。

²² 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

²³ 早田輝洋 (1988: 16) によれば、『満文金瓶梅』における juse は、しばしば一人の「子供」を指す。したがって、本稿では「子供達」という訳に加えて、「子供」という訳も併記している。なお、筆者が調査した満洲語三家子方言においても、juse が一人の「子供」を指す用法が確認されている。

²⁴ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

kunduleme	쿤두러머	(3-18a-5-5)
kungming 「漢語孔明」 ²⁵	쿵밍	(3-1b-5-2) (3-2a-2-1) (3-2a-6-5) (3-2b-2-2) (3-2b-4-1) (3-2b-5-1) (3-3a-1-1) (3-3a-3-1)

²⁵ 筆者の統計によれば、『三譯総解』全十巻において「孔明」は計 108 例出現しており、いずれも分かれ書きされない kungming の形である。この 108 例に対応する『満漢合璧三国志』の語形を確認すると、1 例のみ siyan seng 「先生」(次表 89 号)であり、残る 107 例はすべて「孔明」である。そのうち 104 例は kungming と分かれ書きされておらず、3 例(次表 1, 3, 7 号)のみが kung ming と分かれ書きされている。『三譯総解』における 108 例の出現箇所および『満漢合璧三国志』における対応語の出現箇所は、次表のとおりである。表中の『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する箇所に限る。また、『満漢合璧三国志』において「孔明」が kung ming と分かれ書きされている箇所は網掛けで示した。

表 6 : 『三譯総解』・『満漢合璧三国志』における「孔明」の満洲文字表記の出現箇所

	三譯総解	満漢合璧三国志		三譯総解	満漢合璧三国志		三譯総解	満漢合璧三国志
1	(3-1b-5-2)	(9-71a-3-3/4)	37	(3-22a-4-3)	(9-79b-1-2)	73	(4-18b-4-4)	(10-10a-3-3)
2	(3-2a-2-1)	(9-71a-5-8)	38	(3-22b-2-1)	(9-79b-2-9)	74	(4-19a-6-3)	(10-10a-7-3)
3	(3-2a-6-5)	(9-71a-7-7/8)	39	(3-23b-2-1)	(9-80a-2-5)	75	(4-20a-3-1)	(10-10b-5-2)
4	(3-2b-2-2)	(9-71b-6-9)	40	(4-1b-2-2)	(10-2a-5-6)	76	(4-22a-1-1)	(10-11b-1-10)
5	(3-2b-4-1)	(9-71b-7-6)	41	(4-1b-5-5)	(10-2a-7-2)	77	(4-22a-4-5)	(10-11b-3-9)
6	(3-2b-5-1)	(9-71b-7-10)	42	(4-1b-6-6)	(10-2a-7-9)	78	(4-22b-1-1)	(10-11b-4-11)
7	(3-3a-1-1)	(9-72a-1-11/12)	43	(4-2a-4-5)	(10-2b-2-9)	79	(4-23a-1-3)	(10-12a-1-3)
8	(3-3a-3-1)	(9-72a-2-8)	44	(4-2b-1-6)	(10-2b-4-3)	80	(4-23b-5-1)	(10-12a-5-9)
9	(3-3a-4-2)	(9-72a-3-4)	45	(4-3a-1-1)	(10-2b-7-2)	81	(4-24b-3-2)	(10-12b-3-9)
10	(3-3a-5-3)	(9-72a-3-8)	46	(4-3b-6-1)	(10-3a-6-1)	82	(4-25a-3-4)	(10-12b-6-10)
11	(3-3b-3-4)	(9-72a-5-7)	47	(4-4a-1-1)	(10-3a-6-5)	83	(4-25a-3-7)	(10-12b-7-1)
12	(3-4a-6-1)	(9-72b-2-3)	48	(4-4b-6-5)	(10-3b-5-4)	84	(5-1a-4-1)	(10-13a-3-7)
13	(3-4b-1-4)	(9-72b-2-13)	49	(4-5b-2-1)	(10-4a-2-3)	85	(5-1a-5-1)	(10-13a-4-2)
14	(3-4b-6-1)	(9-72b-4-8)	50	(4-5b-2-4)	(10-4a-2-6)	86	(5-1b-5-1)	(10-13a-7-2)
15	(3-5a-6-1)	(9-72b-7-3)	51	(4-5b-4-2)	(10-4a-3-4)	87	(5-8a-3-8)	(10-16b-1-4)
16	(3-5b-6-1)	(9-73a-2-11)	52	(4-6a-2-5)	(10-4a-5-8)	88	(5-8a-4-4)	(10-16b-1-7)
17	(3-6b-2-1)	(9-73a-6-3)	53	(4-7a-1-1)	(10-4b-5-4)	89	(5-8a-6-2)	siyan seng
18	(3-7b-4-1)	(9-73b-5-6)	54	(4-7a-6-1)	(10-4b-7-9)	90	(5-8b-1-1)	(10-16b-2-8)
19	(3-8a-2-2)	(9-73b-7-3)	55	(4-7b-5-4)	(10-5a-3-8)	91	(5-12a-1-3)	(10-18a-2-10)
20	(3-8b-1-1)	(9-74a-2-6)	56	(4-8a-3-1)	(10-5a-5-5)	92	(5-19a-1-4)	(10-21a-3-8)
21	(3-9a-4-2)	(9-74a-6-6)	57	(4-8b-1-4)	(10-5a-7-11)	93	(5-19b-3-1)	(10-21a-7-2)
22	(3-9b-3-1)	(9-74b-1-4)	58	(4-8b-5-1)	(10-5b-2-11)	94	(5-20a-2-1)	(10-21b-2-7)
23	(3-11a-5-3)	(9-75a-3-8)	59	(4-9a-3-3)	(10-5b-5-1)	95	(5-20b-1-1)	(10-21b-5-7)
24	(3-11b-4-2)	(9-75a-5-8)	60	(4-10a-5-4)	(10-6a-5-6)	96	(5-21b-2-4)	(10-22a-6-4)
25	(3-12a-5-1)	(9-75b-1-8)	61	(4-10a-6-2)	(10-6a-5-10)	97	(5-22b-2-3)	(10-22b-4-7)
26	(3-13a-2-2)	(9-75b-5-11)	62	(4-11a-4-1)	(10-6b-4-1)	98	(9-19b-5-1)	(10-106b-5-1)
27	(3-14a-4-4)	(9-76a-4-10)	63	(4-13a-2-3)	(10-7b-2-1)	99	(9-20a-2-3)	(10-106b-6-5)
28	(3-14b-4-1)	(9-76a-7-2)	64	(4-13a-6-9)	(10-7b-4-3)	100	(9-20b-2-4)	(10-107a-2-4)
29	(3-15a-5-1)	(9-76b-4-5)	65	(4-13b-2-6)	(10-7b-5-1)	101	(9-21a-3-1)	(10-107a-5-4)
30	(3-16a-6-1)	(9-77a-1-7)	66	(4-13b-5-4)	(10-7b-6-5)	102	(9-21b-1-1)	(10-107a-7-1)
31	(3-16b-1-1)	(9-77a-1-11)	67	(4-14a-6-1)	(10-8a-2-6)	103	(9-21b-3-3)	(10-107b-1-3)
32	(3-16b-4-1)	(9-77a-3-3)	68	(4-14b-2-6)	(10-8a-4-1)	104	(10-7b-5-1)	(11-105a-5-5)
33	(3-17a-3-2)	(9-77a-5-2)	69	(4-14b-4-1)	(10-8a-4-11)	105	(10-9a-1-4)	(11-106a-1-4)
34	(3-17b-2-7)	(9-77a-7-8)	70	(4-15a-3-1)	(10-8a-7-4)	106	(10-9b-4-2)	(11-106a-5-10)
35	(3-18a-1-1)	(9-77b-2-6)	71	(4-17b-5-4)	(10-9b-2-9)	107	(10-12a-2-2)	(11-107a-5-9)
36	(3-19a-5-1)	(9-78a-4-12)	72	(4-18b-1-2)	(10-10a-1-5)	108	(10-26a-3-2)	(11-113b-6-12)

なお、岸田 (1997) は対校表において『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の三者間の差異を整理しているが、『三譯総解』(3-1b-5-2), (3-2a-6-5), (3-3a-1-1)における kungming と、『満漢合璧三国志』(9-71a-3-3/4), (9-71a-7-7/8), (9-72a-1-11/12)における kung ming との差異については、岸田 (1997) の対校表において言及がない。筆者が参照した『満漢合璧三国志』におけるこれら 3 箇所の語形は、以下のウェブサイトで確認することができる(最終確認日: 2026 年 2 月 20 日)。

1. 『満漢合璧三国志』kung ming (9-71a-3-3/4): https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0757&DMDID=DMDLOG_0001

2. 『満漢合璧三国志』kung ming (9-71a-7-7/8): https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0757&DMDID=DMDLOG_0001

3. 『満漢合璧三国志』kung ming (9-72a-1-11/12): https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0759&DMDID=DMDLOG_0001

岸田 (1997) は対校表 No. 139 (上表の 22 号に相当)、No. 160 (上表の 35 号に相当)、No. 834 (上表の 103 号に相当)において、『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の三者間に見られる kungming, kung ming, kungming の差異を指摘している。また、対校表 No. 302 (上表の 89 号に相当)においては、三者間の kungming, siyan seng, siyan seng の差異を指摘している。

		(3-3a-4-2) (3-3a-5-3) (3-3b-3-4) (3-4a-6-1) (3-4b-1-4) (3-4b-6-1) (3-5a-6-1) (3-5b-6-1) (3-6b-2-1) (3-7b-4-1) (3-8a-2-2) (3-8b-1-1) (3-9a-4-2) (3-9b-3-1) (3-11a-5-3) (3-11b-4-2) (3-12a-5-1) (3-13a-2-2) (3-14a-4-4) (3-14b-4-1) (3-15a-5-1) (3-16a-6-1) (3-16b-1-1) (3-16b-4-1) (3-17a-3-2) (3-17b-2-7) (3-18a-1-1) (3-19a-5-1) (3-22a-4-3) (3-22b-2-1) (3-23b-2-1)
labdo 「多い」 ²⁶	랍도	(3-19b-1-4) (3-23a-6-2)
lakcambi 「断つ」	---	---
lakcarakū	락차라쿠	(3-8b-4-7)
lashalambi 「断つ ; 決断する」	---	---
lashalame	랏하라머	(3-26a-3-6)
lashalarakū	랏하라라쿠	(3-12a-2-1)
ling 「漢語零」 (ling ling 「零陵」)	링	(3-1a-3-1)
ling 「漢語陵」 (cuwan ling 「泉陵」) (ling ling 「零陵」)	링	(3-1a-3-4) (3-1a-3-2)
lio 「漢語劉」 (lio biyoo 「劉表」) (lio ci 「劉琦」) (lio dzung 「劉琮」) (lio hiowande 「劉玄德」) (lio ioi jeo 「劉豫州」)	리	(3-18b-2-4) (3-19b-4-1) (3-6a-4-1) (3-5a-3-5) ²⁷ (3-5a-6-3) (3-9b-6-1) (3-10b-2-3) (3-13a-1-5) (3-13a-6-1) (3-18b-2-8) (3-18b-5-5) (3-19a-5-3) (3-20a-1-3) (3-21a-1-1)
lioi 「漢語呂」 (lioi bu 「呂布」)	뤼	(3-5b-6-4) (3-18b-2-2)
liyoo 「漢語遼」 (liyoo dung 「遼東」)	료	(3-6a-3-4)
lu 「漢語虜」 (too lu 「討虜」)	루	(3-1b-6-8)
lu 「漢語魯」	루	

²⁶ 当該語は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても labdu と綴られている。しかし、『三譯総解』における当該語は、labdo の形で現れている。岸田 (1997: 174, 176) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』では、対応箇所における語形は labdu である。ただし、『三譯総解』(3-19b-1-4) labdo に対応する『滿文三国志』の語形は印刷が不鮮明である。성백인 (1984: 27) によれば、『三譯総解』における towa 「火」、labdo、gelgun akū、targū は主として順治初年以前の文献に見られるものである。なお、김주원 (1990: 16) は『三譯総解』(3-23a-6-2)における labdo の語形について言及している。

²⁷ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

(lu su 「魯肅」)		(3-2a-6-1) (3-2b-1-5) (3-4a-5-4) (3-14a-4-2) (3-15a-3-1) (3-15a-4-2) (3-15b-3-4) (3-15b-6-6) (3-16a-5-1) (3-22a-3-1) (3-24a-1-1)
maktambi 「投げる ; 賞賛する」	---	---
maktafi	막타피	(3-14b-5-1)
mangga 「難しい ; 硬い ; 強い ; 高価な」	망가	(3-20a-4-1)
manggi 「～た後」	망기	(3-2b-5-6) (3-14a-4-1) (3-18a-6-4)
marambi 「遠慮する ; 拒む ; 強く主張する」	---	---
marafi	마라피	(3-3a-5-6)
mederi 「海」	머더리	(3-9b-3-4) (3-13b-2-6)
mehumbi 「身を俯せる、体を屈める」	---	---
mehume	머후머	(3-2b-6-6)
meni 「私たち(除外的)の」	머니	(3-14a-6-2) (3-18b-5-8)
meni (meni meni 「各々」)	머니	(3-24b-3-2) (3-24b-3-3)
mergese 「賢者たち、智者たち」	멀거서	(3-7b-5-1)
mimbe 「私を」	میمبه	(3-9a-2-2) (3-17a-4-2) (3-26a-2-4)
minde 「私に」	민더	(3-11a-3-2) (3-15a-1-1) (3-15a-1-8) (3-16a-2-8)
mingga 「千」 ²⁸	밍가	(3-5b-1-1) (3-7b-6-2)
mini 「私の」	미니	(3-9a-3-1) (3-9a-5-5) (3-21b-6-1) (3-25b-5-1) (3-26a-6-1)
miyalimbi 「測る」	---	---
miyaliha	마리하	(3-8a-3-8)
mohobumbi 「果てさせる ; 問い詰める ; 苦しめ抜く」	---	---
mohobume	모호부머	(3-2a-4-2)
monggo 「蒙古」	몽고	(3-6a-3-1)
moringga 「乗馬した(人)」	모링가	(3-6a-5-2)

²⁸ 当該語は『増訂清文鑑』では *minggan* と綴られている。一方、『大清全書』では *mingga* と綴られている。『三譯総解』の当該箇所では、*mingga* の形で現れている。なお、岸田 (1997: 171) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも *minggan* である。

mu 「漢語謀」 ²⁹ (dzung mu 「仲謀」)	무	(3-26a-5-6)
mujilen 「心」	무지런	(3-14b-1-1)
muke 「水」	무커	(3-6a-5-3) (3-13b-2-5) (3-20a-6-7)
mukiyebumbi 「滅ぼす ; 消す」	---	---
mukiyebuhe	무켜부허	(3-6a-1-6)
mukiyebuki	무켜부키	(3-22a-2-4)
mukiyebure	무켜부러	(3-23b-4-7)
mukiyembi 「滅びる ; 消える」	---	---
mukiyehē	무켜허	(3-18b-5-3)
musei 「私たち(包括的)の」	무세	(3-25b-5-5)
mutebumbi 「実現させる」	---	---
muteburakūngge	무터부라쿵거	(3-13b-4-3)
mutembi 「できる」	무텀비	(3-4a-2-2) (3-21a-2-7)
muterakū	무터라쿠	(3-11a-2-3) (3-14b-6-3) (3-16b-3-2) (3-19a-2-1) (3-20a-5-3) (3-26a-4-1)
mutere	무터러	(3-10b-6-5)
nakambi 「やめる」	---	---
nakafi	나카피	(3-11b-1-3)
nakara	나카라	(3-9a-3-3) (3-15b-6-4)
nakarakū	나카라쿠	(3-16b-1-4)
narambi 「恋着する」	---	---
nararangege	나라랑거	(3-24b-5-2)
necihiyembi 「平らにする ; 平らげる ; 慰める」	---	---
necihiyefi	너치혀피	(3-6b-5-4) (3-8a-5-8)
necihiyehē	너치혀허	(3-6a-2-2)
necimbi 「犯す」	---	---

²⁹ 『對音輯字』(下巻第22葉a面)では、漢字「謀」に対応する満洲文字は meo である。一方、筆者の統計では、満洲文字による漢字「謀」の表記は『三譯総解』全十巻において計3例出現しており、いずれも mu の形で現れている。それぞれ『三譯総解』(3-26a-5-5/6)の dzung mu 「仲謀」および(6-2a-1-8/9), (6-5a-5-8/9)の ts'an mu 「參謀」に出現している。

まず、『三譯総解』(3-26a-5-5/6)において「仲謀」を表す語は、dzung mu の形で現れている。岸田(1997: 178)によれば、『滿文三国志』・『滿漢合璧三国志』の対応箇所における語形はそれぞれ dzung mu (印刷が不鮮明で、あるいは dzung mo にも読める) と dzung moo である。

それから、『三譯総解』(6-2a-1-8/9), (6-5a-5-8/9)において「參謀」を表す語は、ts'an mu の形で現れている。岸田(1997: 207)によれば、『三譯総解』(6-2a-1-8/9)に対応する『滿文三国志』・『滿漢合璧三国志』の当該箇所における語形はそれぞれ ts'an mu と ts'an mo である。また、筆者の確認によれば、『三譯総解』(6-5a-5-8/9)に対応する『滿漢合璧三国志』の当該箇所(10-25b-6-5/6)における語形も ts'an mu である。

以上を次表のとおりにまとめることができる。表中の「岸田対校表番号」とは、岸田(1997)における『三譯総解』・『滿文三国志』・『滿漢合璧三国志』対校表の番号を指す。

表7: 『三譯総解』・『滿漢合璧三国志』における漢字「謀」の満洲文字表記

	岸田対校表番号	三譯総解	滿漢合璧三国志
仲謀	186	dzung mu (3-26a-5-5/6)	dzung moo (9-81b-6-5/6)
參謀	406	ts'an mu (6-2a-1-8/9)	ts'an mo (10-24b-1-2/3)
	---	ts'an mu (6-5a-5-8/9)	ts'an mu (10-25b-6-5/6)

necihe	넉치허	(3-17b-5-6)
neimbi 「開く」	---	---
neihe	넉허	(3-21b-5-2)
nekeliyen 「薄い」	넉커런	(3-20a-4-8)
ni 「の ; で」	니	(3-1a-3-5) (3-1b-5-3) (3-2b-2-3) (3-3a-3-2) (3-4a-6-2) (3-4b-2-1) (3-5a-1-4) (3-7b-1-3) (3-8a-3-1) (3-8b-1-5) (3-8b-6-1) (3-9b-5-4) (3-10a-1-1) (3-12b-4-4) (3-14b-3-3) (3-18a-2-3) (3-21a-6-8) (3-21b-4-3) (3-22b-2-2) (3-22b-6-2) (3-23b-2-2) (3-24b-6-3) (3-25b-3-8)
nikai 「終助詞 ni + 終助詞 kai」	넉캐	(3-17a-5-1)
nikembi 「もたれる」	---	---
nikefi	넉커피	(3-10a-1-4)
niyalma 「人」	날마	(3-1a-2-4) (3-1a-3-7) (3-2a-2-5) (3-3b-4-4) (3-4b-6-7) (3-7b-1-5) (3-10b-1-1) (3-12a-5-6) (3-13b-5-3) (3-16a-2-5) (3-16a-4-6) (3-18b-3-4) (3-19a-1-2) (3-20a-6-6)
niyalmai 「人の」	날매	(3-16b-2-4) (3-19a-4-2)
nofi 「人の助数詞」	넉피	(3-18b-6-2)
nu 「漢語弩」	누	(3-20a-4-2)
nunggimbi 「呑む」 ³⁰	---	---
nunggire	농기러	(3-11b-6-6)
nungnebumbi 「侵害させる ; 侵害される」	---	---
nungneburakū	농너부라쿠	(3-21a-6-6)
nungnembi 「侵害する ; 騒がす」	---	---
nungneki	농너키	(3-9a-2-3)
nure 「酒(粟や黍などを原料として醸造した酒)」	누러	(3-18a-5-2)
okdombi 「迎える」	---	---
okdoko ³¹	옥도코	(3-2b-6-7)
ombi 「なる」	옴비	(3-11a-3-7) (3-11a-5-2) (3-12b-6-1) (3-15b-3-2) (3-23b-1-3)
oci	오치	(3-2a-4-6) (3-8b-6-6) (3-10b-6-7) (3-11a-3-1) (3-11b-5-3) (3-11b-6-3) (3-12a-2-2) (3-13a-1-4)
ofi	오피	(3-10b-2-2) (3-12a-1-5) (3-14b-1-5) (3-16b-4-3) (3-17b-4-6) (3-23a-6-3)

³⁰ 当該語は、『増訂清文鑑』と『大清全書』ではそれぞれ nunggimbi と nunggimbi と綴られている。

³¹ 動詞語幹 okdo- に完了接辞が付加される形式は、『大清全書』では okdoko と綴られている。見出し語 okdome-ko-mbi 「迎接之迎。」を参照されたい。これに対し、Закатов (1875: 124) は、okdo- に付く完了接辞を -ho として記述している。一方、『三譯総解』の当該箇所においては、okdoko の形で現れている。

oho	오호	(3-26b-4-2)
ohobi	오호비	(3-1b-4-3)
ohode	오호더	(3-12b-4-2) (3-19a-2-2) (3-21a-5-2) (3-25b-6-7) (3-26a-2-6)
ojorakū	오조라쿠	(3-2a-5-1) (3-3b-5-6) (3-10b-1-5) (3-12a-2-5)
ojoro	오조로	(3-4b-4-7) (3-5b-4-1)
omicambi 「一緒に飲む」	---	---
omicaha	오미차하	(3-18a-6-3)
omimbi 「飲む」	---	---
omici	오미치	(3-25a-3-5)
onco 「横に広い」	온초	(3-14b-1-2)
oncohon 「仰向けに ; 傲慢な」	온초혼	(3-14b-4-4)
onggombi 「忘れる」	---	---
onggoho	옹고호	(3-26a-6-7)
onggorakū	옹고라쿠	(3-26b-1-4)
orho 「草」	올호	(3-1b-3-7) (3-21b-4-6) (3-23b-4-2)
orin 「二十」	오린	(3-7a-1-5) (3-7a-3-4)
sabuhū (ebuhu sabuhū 「慌てふためいて」)	사부후	(3-17b-2-2) (3-22b-3-2) (3-24a-4-2)
sabumbi 「見る」	---	---
sabufi	사부피	(3-16a-1-1) (3-24a-2-4)
sahahūn 「薄黒の ; 癸」	사하훈	(3-3b-2-2)
sain 「良い」	샌	(3-15a-3-5) (3-16a-2-4) (3-17a-3-4)
saisa 「賢者」	새사	(3-13a-3-8)
saisai 「賢者の」	새새	(3-13b-2-2)
salu 「ひげ」	사루	(3-3b-2-3)
sambi 「知る」	---	---
safi	사피	(3-25a-6-1) ³²
sahangge	사항거	(3-17b-4-4)
sarkū	살쿠	(3-2a-3-3) (3-6b-2-6)
sargan 「妻」	살간	(3-24b-3-5)
sartabumbi 「遅延させる ; 憂を解く」	---	---
sartabuha	살타부하	(3-17b-1-2)
se 「～たち」	서 ³³	(3-18b-5-1)
seibeni 「昔」	세머니	(3-23a-1-3)

³² 満洲語文語では、通常 sabu- は「見る」を、sa- は「知る」を意味する。しかし、原書の(3-25a-6-1)に見られる safi は、文脈から判断すると「知って」ではなく、むしろ「見て」と解釈すべき用例であると考えられる。

³³ 『三譯総解』において、通常、se 「歳」のハングル表記は「서」であり、動詞 se- 「言う」およびスペースに続く場合の se 「～たち」のハングル表記は「스」である。しかしながら、(3-18b-5-1)では、スペースに続く se 「～たち」のハングル表記は「스」ではなく、「서」である。

sejen 「車」	서전	(3-8a-3-3)
sejilembi 「嘆く」	---	---
sejilefi	서지러피	(3-26a-5-3)
selgiyembi 「伝令する、布令する」	---	---
selgiyeme	설겨머	(3-22a-4-1)
sembi 「言う」	슴비	(3-9a-6-3) (3-16b-3-6) (3-19a-2-4) (3-20a-5-4)
seci	스치	(3-1a-2-6) (3-25b-5-4)
sefi	스피	(3-18a-3-5) (3-22a-2-5)
sehengge	스형거	(3-7b-2-2) (3-12b-1-6) (3-16a-3-2)
seme	스머	(3-4a-2-3) (3-4a-3-5) (3-7a-6-4) (3-8a-4-1) (3-10a-3-7) (3-10b-1-3) (3-12a-4-4) (3-17b-1-3) (3-20a-4-7) (3-22b-2-6) (3-23b-5-6) (3-24a-3-6) (3-25a-6-3) (3-26a-3-3)
serakū	스라쿠	(3-8b-6-5)
sere	스리	(3-3a-5-1) (3-9a-2-4) (3-22b-6-5)
serengge	스렁거	(3-24b-2-2) (3-25a-1-4)

seng 「漢語生」 (siyan seng 「先生」) ³⁴	승	(3-14a-5-3) (3-14b-3-2) (3-21b-4-2)
si 「あなた」	시	(3-5a-2-4) (3-9a-3-5) (3-16a-1-3) (3-26a-5-7)
silimbi 「精選する」	---	---
siliha	시리하	(3-19b-2-5)
simbi 「塞ぐ」	---	---

³⁴『對音輯字』(下巻第4葉a面)では、漢字「生」に対応する満洲文字はšengである。一方、筆者の統計によれば、『三譯総解』において「先生」は計27例出現しており、いずれもsiyan sengの形である。これに対し、『満漢合璧三国志』における対応箇所では、siyan šengと綴られる場合が多い。『三譯総解』における27例の「先生」の出現箇所および『満漢合璧三国志』における対応語の出現箇所は、次表のとおりである。表中の『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。『満漢合璧三国志』において「先生」がsiyan sengと綴られる箇所は網掛けで示した。また、表中の「岸田対校表番号」とは、岸田(1997)における『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』対校表の番号を指す。

表8:『三譯総解』・『満漢合璧三国志』における「先生」の満洲文字表記

	岸田対校表番号	三譯総解	満漢合璧三国志
[1]	155	siyan seng (3-14a-5-2/3)	siyan šeng (9-76a-5-2/3)
[2]	156	siyan seng (3-14b-3-1/2)	siyan šeng (9-76a-6-7/8)
[3]	173	siyan seng (3-21b-4-1/2)	siyan šeng (9-79a-5-2/3)
[4]	194	siyan seng (4-2b-6-2/3)	siyan šeng (10-2b-6-7/8)
[5]	206	siyan seng (4-6a-2-1/2)	siyan šeng (10-4a-5-4/5)
[6]	207	siyan seng (4-6a-5-4/5)	siyan šeng (10-4a-7-3/4)
[7]	209	siyan seng (4-6b-2-2/3)	siyan šeng (10-4b-2-8/9)
[8]	213	siyan seng (4-7b-4-4/5)	siyan šeng (10-5a-3-2/3)
[9]	242	siyan seng (4-19b-6-4/5)	siyan šeng (10-10b-3-13/-4-1)
[10]	253	siyan seng (4-23b-3-7/8)	siyan šeng (10-12a-5-3/4)
[11]	255	siyan seng (4-24a-5-3/4)	siyan šeng (10-12b-1-12/13)
[12]	256	siyan seng (4-24b-2-2/3)	siyan šeng (10-12b-3-5/6)
[13]	367	siyan seng (5-19a-6-1/2)	siyan šeng (10-21a-6-1/2) 岸田(1997:202)の[10:21b/6]は[10:21a/6]の誤記。
[14]	368	siyan seng (5-19b-5-2/3)	siyan šeng (10-21b-1-3/4)
[15]	---	siyan seng (5-23b-5-3/4)	siyan seng (10-23a-4-10/11)
[16]	428	siyan seng (6-7a-6-1/2)	siyan šeng (10-26b-4-3/4)
[17]	478	siyan seng (6-18a-4-5/-5-1)	siyan šeng (10-31a-7-2/3)
[18]	491	siyan seng (6-20b-3-4/5)	siyan šeng (10-32a-7-5/6)
[19]	504	siyan seng (6-22b-1-4/5)	siyan šeng (10-33a-4-7/8)
[20]	558	siyan seng (7-9b-2-3/4)	siyan šeng (10-38a-5-10/11)
[21]	572	siyan seng (7-13b-2-2/3)	siyan šeng (10-39b-6-8/9)
[22]	595	siyan seng (7-19b-4-8/-5-1)	siyan šeng (10-42a-6-10/11) 岸田(1997:227)の[10:42b/6]は[10:42a/6]の誤記。
[23]	---	siyan seng (7-21a-3-3/4)	siyan seng (10-42b-7-8/9)
[24]	606	siyan seng (7-22a-1-3/4)	siyan šeng (10-43a-6-4/5)
[25]	576	siyan seng (7-15b-2-3/4)	siyan šeng (10-40b-4-4/5)
[26]	---	siyan seng (8-3b-1-4/5)	siyan seng (10-45a-5-5/6)
[27]	741	siyan seng (8-20b-3-2/3)	欠

岸田(1997)の対校表202頁No.367における『満漢合璧三国志』の位置表示[10:21b/6]は誤りであり、正しくは[10:21a/6]である。また、同対校表227頁No.595における『満漢合璧三国志』の[10:42b/6]も誤りであり、正しくは[10:42a/6]である。

さらに、岸田(1997)の対校表では、『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の原典において途中に別の語が介在する場合には、通常、別番号が付されている。しかし、『三譯総解』のbucembi kai(7-15b-1-6/7)とsiyan seng(7-15b-2-3/4)の間にはcocoo hendume(7-15b-2-1/2)が介在しているにもかかわらず、当該の対校表において「bucembi kai – bucembikai – bucembikai」と「siyan seng – siyan seng – siyan šeng」はいずれもNo.576にまとめられており、後者には独立した番号が付されていない。

なお、岸田(1989:27)の集計によれば、『三譯総解』におけるseng「生」は26例出現している。しかし、筆者の集計によれば、上表で示したとおり、「生」は27例出現している。また、岸田(1989:26-27)が集計したaise、bedere-、se-、heo「俟」、museの出現例数についても、筆者の集計結果とは一致しない。

sihe	시허	(3-21b-4-5)
sin 「柘」	신	(3-8a-3-6)
sin 「漢語新」 (sin yei 「新野」)	신	(3-5a-3-1) (3-5b-2-1)
sini 「あなたの」	시니	(3-4b-2-4) (3-10b-4-3)
sirambi 「繼ぐ」	---	---
sirafi	시라피	(3-10b-4-2)
siran (siran siran i 「陸続と」)	시란	(3-8b-4-1) (3-8b-4-2)
sirdan 「矢」	실단	(3-20a-4-4)
sitahūn 「寡い；寡人の寡」	시타훈	(3-18b-3-3) (3-19a-1-1)
siyan 「漢語先」 (siyan seng 「先生」)	산	(3-14a-5-2) (3-14b-3-1) (3-21b-4-1)
soktombi 「酔う」	---	---
soktohongge	속토홍거	(3-26b-3-2)
solimbi 「招待する」	---	---
solime	소리머	(3-17b-3-2)
songkoi 「～に依って」	송괴	(3-13a-1-3)
su 「漢語肅」 (lu su 「魯肅」)	수	(3-2a-6-2) (3-2b-2-1) (3-4a-5-5) (3-14a-4-3) (3-15a-3-2) (3-15a-4-3) (3-15b-3-5) (3-15b-6-7) (3-16a-5-2) (3-22a-3-2) (3-24a-1-2)
subumbi 「冤罪を解く；脱がせる；酔いが覚める；墮胎する」	---	---
subuha	수부하	(3-26b-3-3)
sujambi 「支える；防ぐ」	---	---
sujaci	수자치	(3-5b-3-7)
suje 「緞子」	수저	(3-20a-4-9)
sun 「漢語孫」 (sun cuwan 「孫權」) (sun jiyān 「孫堅」) (sun ts'e 「孫策」)	순	(3-1b-3-2) (3-2b-6-3) (3-3a-1-5) (3-3b-1-3) (3-4a-3-1) (3-4b-1-2) (3-5a-2-1) (3-5b-4-2) (3-6a-6-3) (3-7b-2-3) (3-8a-1-1) (3-8a-4-3) (3-9a-1-2) (3-9b-1-1) (3-11a-4-1) (3-11b-3-1) (3-12a-3-3) (3-12b-6-2) (3-13b-6-2) (3-14a-3-1) (3-15b-4-8) (3-15b-5-4) (3-17a-1-4) (3-17b-4-1) (3-18b-1-1) (3-21b-3-1) (3-22a-6-3) (3-22b-4-1) (3-23b-5-3) (3-24a-4-4) (3-25a-2-2) (3-25a-5-3) (3-25b-2-2) (3-26b-2-3) (3-1a-5-3) (3-1b-1-3)
susai 「五十」	수새	(3-6b-4-6) (3-6b-6-3) (3-7a-5-1)
suwe 「あなたたち」	쉬	(3-15a-1-7)
šanggiyan 「白い；庚」	상간	(3-24b-6-6)

šoо 「漢語紹」 (yuwan šoo 「袁紹」)	쑤	(3-6a-1-4) (3-6b-5-2) (3-23a-3-2)
šu 「漢語術」 (yuwan šu 「袁術」)	슈	(3-6a-1-8) (3-18b-2-7)
tacibumbi 「教える」	---	---
tacibure	타치부러	(3-4b-5-2)
tacimbi 「学ぶ；慣れる」	---	---
taciha	타치하	(3-4b-6-3)
tafambi 「登る」	---	---
tafaka ³⁵	타파카	(3-2b-5-5)
tafulambi 「諫める」	---	---
tafulame	타푸라머	(3-24a-3-4) (3-24a-6-10)
tanggū 「百」	탕구	(3-6a-5-7) (3-7a-4-6) (3-7a-6-2) (3-8b-4-5) (3-15a-6-2) (3-20a-2-6) (3-23a-4-2)
tatambi 「引く；宿る」	---	---
tatafi	타타피	(3-25b-3-6)
tatame	타타머	(3-21b-4-8)
tatara	타타라	(3-22a-5-2)
te 「今」	터	(3-1b-3-1) (3-7a-2-2) (3-8a-5-3) (3-8b-1-3) (3-9b-3-3) (3-10a-3-1) (3-20a-1-1) (3-20b-5-1) (3-23a-4-1) (3-25b-2-5)
tebumbi 「座らせる；住ませる；職に就かせる；駐屯させる；盛る；植える；納棺する；酒を作る」	---	---
tebuhe	터부허	(3-8a-3-5)
tecembi 「一緒に座る」	---	---
tecefi	터쳐피	(3-18a-5-1)
teike 「今し方」	테커	(3-18a-2-1)
tembi 「座る；住む；職に就く；駐屯する；沈殿する；水が溜まる」	---	---
te	터	(3-3a-4-4)
teci	터치	(3-25a-3-1)
tefi	터피	(3-3a-6-1) (3-24b-4-6)
temšembi 「争う」	텨섬비	(3-10a-2-5)
teni 「やっと」	터니	(3-2b-2-6) (3-24a-5-1)
tere 「その；それ；その人；あの；あれ；あの人」	터러	(3-4a-6-5) (3-15b-4-1) (3-18b-4-1) (3-20a-6-1) (3-23a-5-3)

³⁵ 動詞語幹 tafa- に完了接辞が付加される形式は、『大清全書』では tafaha と綴られている。見出し語 tafambi-ha 「上去。上梯。上炕。登高去。」および dakdari tafaha 「(漢訳無し)」を参照されたい。Захаров (1875: 715) も、tafa- に付く完了接辞を -ha として記述している。一方、『増訂清文鑑』には tafaka の綴りが見られる。見出し語 dakdari 「獨自先登」の説明文 yaya onggolo uthai tafaka be dakdari tafaka sembi を参照されたい。また、『三譯総解』の当該箇所においても、tafaka の形で現れている。

tereci 「それ/あれ/その人/あの人より ; それから ; さて ; やがて」	터리치	(3-25a-2-1)
terei 「そ/あの人 ; その」	터레	(3-20b-2-8) (3-25b-6-3)
tiyan 「漢語田」 (tiyan heng 「田横」)	탄	(3-13a-3-2)
tokdobumbi 「決める ; 平定する」	---	---
tokdobu	독도부	(3-9a-4-1)
tokdobuha	독도부하	(3-6a-3-7)
tokdobure	독도부러	(3-11a-1-2)
tokdombi 「決定する」 ³⁶	독돔비	(3-21b-1-4)
tokdoho	독도호	(3-21b-6-3)
tolgimbi 「夢を見る」	---	---
tolgifi	톨기피	(3-26b-3-5)

³⁶『大清全書』および『増訂清文鑑』に見られる語基 tokto- は、『三譯総解』では tokdo- と綴られている。『大清全書』における tokto- については、toktombi 「定之。」、acara be tuwame toktobuha 「酌定。」等の見出し語を参照されたい。『増訂清文鑑』における tokto- については、toktombi 「定準」等の見出し語、および toktobumbi 「安定」等の見出し語を参照されたい。一方、『三譯総解』において当該語基が 11 例出現しているが、いずれも tokdo- の形で見られており、tokto- の形は見られない。また、『満漢合璧三国志』における対応部分では、当該語基の綴りはいずれも tokto- である。

表 9 : 『三譯総解』における tokdo- および 『満漢合璧三国志』における tokto-

	岸田対校表番号	三譯総解	満漢合璧三国志
[1]	129	tokdobuha (3-6a-3-7)	toktobuha (9-73a-4-5)
[2]	138	tokdobu (3-9a-4-1)	toktobu (9-74a-6-5)
[3]	144	tokdobure (3-11a-1-2)	toktobure (9-75a-1-10)
[4]	172	tokdombi (3-21b-1-4)	toktombi (9-79a-4-1) 岸田 (1997: 175) では tokdombi と誤記されている。
[5]	174	tokdoho (3-21b-6-3)	toktoho (9-79a-6-2)
[6]	202	tokdoho (4-4b-5-5)	toktoho (10-3b-4-11) 岸田 (1997: 180) では tokdoho と誤記されている。
[7]	337	tokdobuhabi (5-14a-1-8)	toktobuha bi (10-19a-1-13)
[8]	479	tokdobufi (6-18b-1-3)	toktobufi (10-31b-1-6)
[9]	531	tokdobuhabi (7-3a-3-5)	toktobuhabi (10-35b-5-4)
[10]	848	tokdobuci (10-6b-3-4)	toktobuci (11-104b-2-10)
[11]	878	tokdobuha (10-18a-1-5)	toktobuha (11-110a-3-1)

岸田 (1997: 175) の対校表 No. 172 において、『満文三国志』[9:60b/2] および『満漢合璧三国志』[9:79a/4] の語形がいずれも tokdombi と記されているが、これは誤りであり、正しくは toktombi である。また、岸田 (1997: 180) の対校表 No. 202 において、『満文三国志』[10:3a/4] および『満漢合璧三国志』[10:3a/4] の語形がいずれも tokdoho と記されているが、これも誤りであり、正しくは toktoho である。岸田 (1997: 88) では、同じ No. 172 および No. 202 について『満文三国志』の語基を tokto- と記しており、さらに岸田 (1997: 175) の脚注 31 には『満文三国志』は、大体は tokto- の語形に作る (対校表 No. 129, 138, 172 などを参照) と記されている。したがって、岸田 (1997) の 175 頁 No. 172 および 180 頁 No. 202 の記述と、88 頁および 175 頁脚注の記述との間には齟齬が認められる。

筆者が参照した『満漢合璧三国志』では、当該箇所(9-79a-4-1), (10-3b-4-11)の語基形はそれぞれ toktombi と toktoho である。以下のウェブサイトにおいて閲覧可能である (最終確認日=2026年2月20日)。

1. 『満漢合璧三国志』 toktombi (9-79a-4-1) (岸田対校表 No. 172 に相当) : https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0773&DMDID=DMDLOG_0001

2. 『満漢合璧三国志』 toktoho (10-3b-4-11) (岸田対校表 No. 202 に相当) : https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/werkansicht?PPN=PPN3346157784&PHYSID=PHYS_0912&DMDID=DMDLOG_0001

なお、岸田 (1997: 175) 対校表 No. 174 によれば、『三譯総解』(3-21b-6-3) tokdoho に対応する『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の語形は、それぞれ tokdoho と toktoho である。

too 「漢語討」 (too lu 「討虜」)	토	(3-1b-6-7)
towa 「火」 ³⁷	토와	(3-23b-4-5)
ts'e 「漢語策」 (sun ts'e 「孫策」)	처	(3-1b-1-4)
ts'oo 「漢語曹」 (ts'oo gung 「曹公」)	초	(3-22b-5-8) (3-23a-1-1)
ts'oots'oo 「漢語曹操」	초초	(3-5a-4-2) (3-5b-3-4) (3-5b-5-2) (3-5b-6-3) (3-6b-3-1) (3-8a-5-4) (3-10a-1-5) (3-10a-3-2) (3-12b-3-4) (3-15a-1-2) (3-15a-5-3) (3-16b-5-1) (3-18b-1-4) (3-19b-5-4) (3-20b-2-5) (3-21a-2-3) (3-21a-3-1) (3-22a-2-2) (3-24b-1-4) (3-25b-3-1) (3-26a-2-2)
ts'u 「漢語楚」 ³⁸ (jing ts'u 「荆楚」)	추	(3-8a-5-6)
tu 「纛(大旗、軍旗)」	투	(3-8b-3-1)
tucibumbi 「出す」	---	---
tucibufi	투치부피	(3-20b-6-1)
tucimbi 「出る」	---	---
tucifi	투치피	(3-17b-2-6)
tucike	투치커	(3-14a-6-1) (3-18a-2-5) (3-24a-2-2)
tukiyecembi 「ほめそやす; ひ けらかす; 茶を冷ます」	---	---
tukiyeceme	투켜쳐머	(3-3a-2-3)

³⁷ 筆者の統計によれば、『三譯総解』全十巻における満洲語の「火」は計 13 例出現しているが、いずれも towa の語形をとる。出現箇所は(3-23b-4-5), (5-1a-4-3), (5-1a-6-5), (5-2a-1-8), (5-10a-3-2), (5-22b-1-1), (7-3a-2-1), (7-3a-5-1), (7-3b-1-3), (7-3b-4-1), (7-23a-5-4), (9-1a-5-2), (9-13b-6-8)である。岸田 (1997: 88-89) の統計でも 13 例が報告されている。

当該語は『増訂清文鑑』では tuwa と綴られている。tuwa 「火」などの見出し語を参照されたい。一方、『大清全書』では tuwa と towa の両綴りが見られる。前者は tuwa 「水火之火。(後略)」などの見出し語に見られ、後者は見出し語 holdon towa 「烽火。」に見られる。岸田 (1997: 89) は清代の満洲語諸辞書における「火」の語形を整理しているが、『大清全書』における語形については tuwa のみに言及しており、towa には言及していない。

岸田 (1997: 88, 176ff.) によれば、『三譯総解』の towa 「火」に対応する『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の当該箇所の語形はいずれも tuwa である。성백인 (1984: 27) によれば、『三譯総解』における towa 「火」、labdo、gelgun akū、targū は主として順治初年以前の文献に見られるものである。김주원 (1990: 16) と Lie (1977: 99, 272) はそれぞれ『三譯総解』(3-23b-4-5)と(9-1a-5-2)における towa 「火」の語形について言及している。池上 (1963: 99) も『三譯総解』における towa 「火」の語形について報告している。

なお、『大清全書』の teisu towakiyara ba, yūn nan, gui jeo monggon bilgan i gese bade bifi eshun miyoodzy i feye de umesi hanci 「汎居滇黔咽喉逼近生苗巢穴。」においても、通常 tuwakiyara と綴られる語形が、towakiyara と綴られている。但し、筆者の統計によれば、『三譯総解』全十巻において tuwakiya- は計 11 例出現しているが、いずれも満洲文字表記では tuwakiya-、ハングル表記では「투카」 と綴られている。出現箇所は、次のとおりである。tuwakiya: (9-17a-5-1), (9-18a-5-4). tuwakiyaci: (9-18a-2-6). tuwakiyafi: (10-10a-6-1). tuwakiyaki: (8-6a-6-3). tuwakiyame: (1-8b-5-4), (3-13a-4-5), (7-9b-4-7), (7-10a-2-5). tuwakiyara: (8-20a-6-2). tuwakiyabuhabi: (9-18b-3-1).

³⁸ 『對音輯字』(上巻第 11 葉 b 面) では、漢字「楚」に対応する満洲文字は cu である。一方、『三譯総解』において「荆楚」を表す満洲語文語は、jing ts'u の形で現れている。なお、岸田 (1997: 172) によれば、『満文三國志』および『満漢合璧三國志』では、対応箇所における語形はそれぞれ jing dzu と jing ts'u である。

tukiyelambi 「ちょっと挙げる、ひとたび挙げる」	---	---
tukiyelaha ³⁹	투켜라하	(3-15b-2-4)
tukiyembi 「持ち上げる；担ぐ；挙用する；称揚する」	---	---
tukiyehe	투켜허	(3-1a-4-5)
tulergi 「外」	투럴기	(3-10a-3-3) (3-11b-5-1)
tumen 「万」	투먼	(3-6a-6-1) (3-6b-4-7) (3-6b-6-4) (3-7a-1-7) (3-7a-3-6) (3-7a-5-2) (3-7a-6-3) (3-15a-6-3) (3-19a-3-3) (3-19b-3-5) (3-19b-5-1) (3-20b-6-4) (3-23a-4-3)
tungken 「太鼓」	툽켄	(3-23a-2-4)
turgunde 「～の原因/理由で」	툽군더	(3-14a-5-5)
tusa 「利益」	투사	(3-4b-4-6)
tuttu 「そのように；あのよう に」	툽투	(3-3a-3-6) (3-10b-2-1) (3-16b-4-2) (3-17a-4-1) (3-21a-5-1) (3-26a-3-4)
tuwakiyambi 「見張る」	---	---
tuwakiyame	튀카머	(3-13a-4-5)
tuwambi 「見る」	투암비	(3-4b-1-1) ⁴⁰
tuwaci	투와치	(3-3b-1-7) (3-15a-6-7) (3-15b-5-3)
tuwafi	투와피	(3-17a-6-5)
tuwame	투와머	(3-10b-4-6)
u 「漢語呉」 (u fujin 「呉夫人」) (u gurun 「呉国」) (u heo 「呉侯」) (u i ba 「呉の地」)	우	(3-25a-5-1) (3-26a-5-1) (3-21a-6-2) (3-2b-6-1) (3-19a-1-4)

³⁹ 当該箇所の tukiyelaha は、『三譯総解』原書において jug'oliyang emgeri gala tukiyelaha de gemu hukun fulenggi ombi kai に出現しており、『満漢合璧三国志』の対応箇所の漢語は「但亮舉手則皆爲齋粉矣」である。当該箇所の gala tukiyelaha de は「ちょっと手を挙げたら」や「ひとたび手を挙げたら」のような意味を表すと考えられる。しかし、動詞 tukiyela- は、『大清全書』・『満漢同文分類全書』・『増訂清文鑑』・『清文總彙』・『満露辞典』(Захаров 1875)・『満独辞典』(Hauer 2007)などの辞書には収録されていない。

満洲語文語には tukiyele- が存在するが、tukiyela- と tukiyele- とは別語であると考えられる。

まず tukiyela- について見る。tukiyela- における -la は semelfactive 的な機能をしている可能性がある。また、aššala- 「微動する」、dokdola-/dokdorila-/dokdosla- 「びくっとする」、gerila- 「ちらりと見る」における -la も似たような機能であろう。

次に tukiyele- について見る。動詞 tukiyele- は、『大清全書』・『満漢同文分類全書』・『増訂清文鑑』には収録されていないが、『清文總彙』・『満露辞典』(Захаров 1875: 748)・『満独辞典』(Hauer 2007: 479)には収録されている。『清文總彙』・『満露辞典』・『満独辞典』における tukiyelembi の訳・説明文は次のとおりである。

病人乏人氣喘抖肩之抖。呶嘴之呶 (『清文總彙』第8卷第13葉b面)

приподнимаю вверх, встряхиваю за плеча падающего въ обморокъ или отъ изнеможенія; дереу, вздергиваю вверх морду (о лошади недающей взнуздывать или слабоуздой), сх. пэлэрчжэмби. (Захаров 1875: 748)

1) die Schultern hochziehen; 2) lärmern, tumultieren. (Hauer 2007: 479)

なお、福田(2008: 834)は『満独辞典』における tukiyelembi の意味を引用する際に、die Schultern hochziehen を日本語で「肩に高く担ぐ」と訳しているが、誤訳であると考えられる。

⁴⁰ 原書の当該箇所における満洲語文語の満洲文字表記は、印刷が不鮮明である。

(u iowai 「呉越」)		(3-10b-5-1)
ubade 「ここに/で」	우바더	(3-10b-2-7)
ucuri 「折り、機会」	우츄리	(3-21b-2-5)
udu 「幾つ；いくら～(だとして)」	우두	(3-5b-5-6) (3-7b-3-5) (3-10a-6-3) (3-12a-2-3) (3-18a-6-1) (3-18b-4-3) (3-19a-6-1) (3-20a-3-3) (3-20b-1-4) (3-20b-6-3)
ududu 「幾つもの」	우두두	(3-1b-2-2) (3-3a-5-4) (3-8b-4-4)
ufarambi 「失う；損する；失策する」	---	---
ufarame	우파라머	(3-18a-2-4)
ufarara	우파라라	(3-2b-3-5)
uhei 「一緒に」	우헤	(3-21a-1-6) (3-22a-2-1)
uheri 「すべて」	우허리	(3-5b-5-5) (3-6a-5-6)
uhumbi 「包む」	---	---
uhufi	우후피	(3-11b-1-6)
uju 「頭；第一」	우쥬	(3-2b-4-2) (3-11b-3-3)
uksin 「鎧」	옥신	(3-11b-1-4) (3-19b-3-1)
umai 「全く(～でない)」	우매	(3-12a-4-3) (3-23b-5-5)
ume 「否定命令標識」	우머	(3-2b-3-4) (3-23b-3-2) (3-24b-1-2)
unde 「まだ～していない」	운더	(3-15b-6-5)
unenggi 「誠；事実；誠実な；本当の」	우녕기	(3-15a-3-4)
unumbi 「背負う」	---	---
unufi	우누피	(3-23b-4-4)
urgun 「喜び」	울군	(3-17a-2-3)
urgunjembī 「喜ぶ」	---	---
urgunjeme	울군저머	(3-21b-3-4)
urse 「衆人」	울서	(3-7b-5-7) (3-24a-2-1) (3-24a-6-5)
urunakū 「必ず」	우루나쿠	(3-21a-2-6) (3-21a-4-3) (3-24a-2-5)
uthai 「すぐに；即ち」	을해	(3-1b-5-1) (3-12b-2-1) (3-13b-6-4) (3-15a-4-5) (3-16b-3-3) (3-18a-4-1) (3-22a-1-3) (3-22a-5-1) (3-23b-4-1)
uttu 「このように」	을투	(3-14b-5-5)
wajimbi 「終わる」	---	---
wajirakū	와지라쿠	(3-8a-4-2)
waka 「～ではない；非」	와카	(3-18a-1-3) (3-20b-4-2) (3-25a-1-5)
wakalambi 「咎める」	---	---
wakalahakū	와카라하쿠	(3-14b-2-1)
wakalame	와카라머	(3-14a-4-6)
wakalara	와카라라	(3-16a-6-3)
waliyambi 「捨てる；吐き出す；展墓する」	---	---
waliyaha	와랴하	(3-25b-2-1)

waliyame	와라머	(3-18a-3-3) ⁴¹
we 「誰」	위	(3-1a-2-5)
weihukelembi 「軽んじる」	---	---
weihukeleme	웨후커러머	(3-17a-6-4)
weihuken 「軽い」	웨후켄	(3-16b-5-6)
weile 「罪；事」	웨러	(3-2a-3-1) (3-4a-2-1) (3-12a-1-3) (3-13b-4-2) (3-17a-6-7) (3-17b-5-7)
weilembi 「働く；作る；事を為す；仕える」	---	---
weilerakū	웨러라쿠	(3-11b-2-6)
wesihun 「上に；東に；高貴な」	위시훈	(3-24b-4-8)
yadalingge 「弱い」	아다링거 ⁴²	(3-12b-1-1)
yafaha 「歩行」 ⁴³	야파하	(3-6a-5-1)
yamji 「晩」	암지	(3-26b-1-2)
yamun 「衙門、役所、官庁」	야문	(3-2b-5-2) (3-22a-5-3) (3-24b-4-4)
yan 「漢語兗 (yan jeo 「兗州」)	얀	(3-6b-3-2)
yasa 「目」	야사	(3-3b-2-1)
yei 「漢語野 (sin yei 「新野」)	예	(3-5a-3-2) (3-5b-2-2)
yerguwei 「蟻の」 ⁴⁴	열궤	(3-15a-6-8)
yooni 「すべて」	오니	(3-19a-1-7)
yuwan 「漢語袁 (yuwan šoo 「袁紹」) (yuwan šu 「袁術」)	완	(3-6a-1-3) (3-6b-5-1) (3-23a-3-1) (3-6a-1-7) (3-18b-2-6)
yūn 「漢語雲 (guwan yūn cang 「関雲長」)	윈	(3-19b-2-2)



⁴¹ 当該箇所における waliyame の満洲文字表記「」では、i は a のように見えるものの、walayame ではなく waliyame と記そうとしているものと考えられる。なお、これに対応するハングル表記は「와라머」であり、語形が正確である。

⁴² 当該語は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても yadalinggū と綴られている。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、yadalingge にの形で現れている。なお、岸田 (1997: 173) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも yadalinggū である。

⁴³ 当該語は、『増訂清文鑑』では yafahan と綴られている。yafahan cooha 「歩兵」などの見出し語を参照されたい。一方、『大清全書』では yafaha と綴られている。yafaha 「歩行。徒行。」や yafaha cooha 「歩兵。」などの見出し語を参照されたい。『三譯総解』の当該箇所において、yafaha の形で現れている。なお、岸田 (1997: 171) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも yafahan である。

⁴⁴ 『三譯総解』における yerguwei は yerguwe 「蟻」に i 「属格標識」が付加された形式である。yerguwe 「蟻」は、『大清全書』および『増訂清文鑑』では yerhuwe と綴られている。『大清全書』における見出し語 edun ici be tuwame yerhuwe i adali isinjihabi 「望風蟻附。」および『増訂清文鑑』における yerhuwe 「蟻蟻」などの見出し語を参照されたい。なお、岸田 (1997: 173) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所の語形は、それぞれ yerguwei と yerhuwei である。

参考文献

<日本語文献>

- 池上二良 (1951) 「満洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.
- 池上二良 (1954) 「満洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.
- 池上二良 (1955) 「トゥングース語」市河三喜・服部四郎 (編)『世界言語概説 (下巻)』441-488. 東京: 研究社.
- 池上二良 (1963) 「ふたたび満洲語の諺文文献について」『朝鮮学報』26: 94-100.
- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮学報』12: 21-58.
- 王海波 (2026) 「『三譯総解 (第一)』ハンゲル表記満洲語文語索引」『KOTONOHA』278: 1-30.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清学書のハンゲル対音の性格について」『韓国語学年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清学書に現れた満洲語ハンゲル表記について: 特に満洲字 e に対する 2 通りのハンゲル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.
- 岸田文隆 (1994) 「満洲字による漢字音表記の規範化: 満洲字千字文を資料として」『言語学研究』13: 1-23.
- 岸田文隆 (1997) 『『三譯總解』の満文にあらわれた特殊語形の来源』東京: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 鋤田智彦 (2007) 『『満文金瓶梅』により帰納される漢字音の体系について』『早稲田大学大学院文学研究科紀要』52: 217-228.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長 (1966-1968) 『五體清文鑑譯解』京都: 京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937) 『滿和辭典』京都: 京都帝國大學滿蒙古調査會.
- 早田清冷 (2009a) 「満洲語の bi と bimbi について」『東京大学言語学論集』28: 59-70.
- 早田清冷 (2009b) 「『満漢詩経』満洲語に於ける存在動詞 bimbi について」久保智之・林徹・藤代節 (編)『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』13-22. 福岡: 九州大学人文科学研究院言語学研究室.
- 早田輝洋 (1988) 「満洲語文語における或る単語の単数と複数について: 『満文金瓶梅』の asihan と asihata」『九大言語学研究室報告』9: 1-17.
- 早田輝洋 (1993) 「満洲語文語における「取りに (連れに) 来る」を意味する動詞について: 『満文金瓶梅』を資料として」『文學研究』90: 89-130.
- 早田輝洋 (2006) 「満洲語の繫辞と存在動詞」『語学教育フォーラム (第 10 号): アルタイ語研究 I』11-59. 大東文化大学.
- 早田輝洋 (2008) 「満洲語の音節構造: 音節節約を中心にして」寺村政男・久保智之・福盛貴弘 (編)『語学教育フォーラム (第 16 号): 言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』21-51. 東京: 大東文化大学語学教育研究所.
- 早田輝洋 (2009) 「満洲字概説: 有圈点満洲字篇」久保智之・林徹・藤代節 (編)『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』129-167. 福岡: 九州大学人文科学研究院言語学研究室.
- 福田昆之 (2008) 『増訂満洲語文語辞典』横浜: FLL.
- 和田景子 (2013) 『『漢清文鑑』における満洲語のハンゲル表記: 特に満洲語の文字連続 CVwV を中心に』寺村政男 (編)『大東文化大学日本語学科 20 周年記念論文集』244-255. 東京: 大東文化大学日本語学科.

< 韓國語文獻 >

- 김주원(1990) 「만주어 모음체계의 변천에 대하여」 『알타이학보』 2: 1-26.
성백인(1984) 「譯學書에 나타난 訓民正音 使用: 司譯院 淸學書의 만주어 한글 표기에 대하여」 『한국문화』 5: 21-63.
邵磊(2011) 「『漢淸文鑑』을 통해 본 滿文의 한글表記法」 『中韓文化關係國際學術會議論文集』 290-308.

< 中國語文獻 >

- 崔宰宇 (1997) 「『漢淸文鑑』의 編排體例和 語音轉寫」 『中央民族大學學報 (社會科學版)』 1997(3): 82-89.
金東昭 (1990[1977]) 「《龍飛御天歌》女真詞彙研究」 金東昭 (著) · 黃有福 (譯) 『女真語、滿語研究』 85-103. 北京: 新世界出版社. 初出: 『國語教育研究』 9: 91-105.
黎艷平 (1993) 「bi 與 bimbi 淺論」 『滿語研究』 1993(1): 19-23.
邵磊 (2016) 「淸-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音: 以『漢淸文鑑』滿文的韓文表記法為例」 『編譯論叢』 9(2): 57-92.
邵磊 · 多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究: 以『淸語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」 『東方語言學』 2022(2): 17-25.
邵磊 · 多麗梅 (2023) 「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿學研究』 2023: 195-204.
邵磊 · 金龍軍 (2022) 「淸代滿朝對音文獻中的特殊轉寫: 以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」 『民族翻譯』 2022(4): 77-86.
邵磊 · 林茶英 (2022) 「論朝鮮淸學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」 『滿語研究』 2022(2): 69-74.
邵磊 · 任國俊 (2023) 「淸學書中的朝鮮文『圈點字』研究」 『民族翻譯』 2023(3): 78-88.
邵磊 · 王敵非 (2022) 「『淸語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿族研究』 2022(2): 89-95.
王敵非 (2013) 「『淸語老乞大』滿朝對音研究」 『黑龍江民族叢刊』 2013(6): 155-158.

< 英語 · ドイツ語 · イタリア語文獻 >

- Hauer, Erich. (2007) *Handwörterbuch der Mandschusprache, 2., durchgesehene und erweiterte Auflage herausgegeben von Oliver Corff*. Wiesbaden: Harrassowitz.
Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.
Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.
Miglioranza, Adriano. (2004) Alla ricerca del verbo essere: La frase nominale, il verbo bimbi e il verbo ombi tra il mancese classico e il sibe parlato (un'introduzione alle problematiche della lingua mancese). Handout del seminario tenuto a Torino, nell'ambito del dottorato di ricerca in linguistica, linguistica applicata e ingegneria linguistica, il 5 maggio 2004.
von Möllendorff, Paul Georg. (1892) *A Manchu Grammar with Analysed Texts*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.

< 러시아語文獻 >

- Захаров, И.И. (1875) *Полный Маньчжурско-Русский Словарь*. СПб.: Типография Императорской Академии Наукъ.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul
in the Third Volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*

Haibo WANG
(Lingnan Normal University)

Keywords: *Sam-yŏk Ch'ong-hae*, Hangul Transcription, Written Manchu

Sam-yŏk Ch'ong-hae is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in the third volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいほ boljon@163.com)